

令和04年度 大久保428号線道路改良工事

工事設計図書
(当初設計)

工事番号

路線名等 大久保428号線

工事箇所 明石市大久保町大窪地内

工種 道路改良

契約数量表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
本工事費					
道路改良					
道路土工					
作業土工					
床掘り		式		1	
床掘り					
埋戻し		式		1	
埋戻し					
基面整正		式		1	
基面整正					
購入土		式		1	
再生切込砕石					
排水構造物工					
側溝工					
プレキャストU型側溝		式		1	
プレキャストU型水路 [U形側溝(トラフ)]	PUS233	m		2	
自由勾配側溝		式		1	
自由勾配側溝	B600×H1100	m		6	

契約数量表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
自由勾配側溝	B600×H1200	m		11	
自由勾配側溝	B600×H1300	m		24	
自由勾配側溝	B600×H1400	m		24	
集水柵・マンホール工					
現場打ち集水柵		式		1	
1号集水柵	1000×1550	箇所		1	
2号集水柵	800×800	箇所		1	
3号集水柵	1000×1500	箇所		1	
構造物撤去工					
防護柵撤去工					
防護柵(横断・転落防止柵)撤去		式		1	
フェンス撤去工	横断・転落防止柵撤去工歩掛準用	m		52	
横断・転落防止柵撤去工	コンクリート建込 ビーム・パネル式 支柱間隔 1.5m	m		2	
標識撤去工					
標識撤去		式		1	
標識柱・基礎撤去 [路側式]	単柱式 柱径 φ60.5～φ101.6	基		2	
道路付属物撤去工					
視線誘導標撤去		式		1	

契約数量表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
視線誘導標撤去工 [コンクリート建込用]		本		17	
構造物取壊し工					
コンクリート構造物取壊し		式		1	
構造物とりこわし工	鉄筋構造物	m3		53	
舗装版切断		式		1	
舗装版切断(アスファルト舗装版)	As舗装版厚->15cm以下	m		63	
舗装版破碎		式		1	
舗装版破碎積込(小規模土工)		m2		180	
運搬処理工					
殻運搬		式		1	
殻運搬	コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし	m3		53	
殻運搬	舗装版破碎	m3		9	
殻処分		式		1	
処分費	コンクリート殻(鉄筋)	式		1	
処分費	アスファルト殻	式		1	
舗装					
舗装工					
舗装準備工					

契約数量表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量 (前回)	数量 (今回)	数量増減
不陸整正		式		1	
不陸整正	補足材料->有り (29mm以上34mm未満)	m2		60	
アスファルト舗装工					
上層路盤(車道・路肩部)		式		1	
上層路盤(車道・路肩部)	粒調碎石 M-25, M-30, M-40	m2		60	
表層(車道・路肩部)		式		1	
表層(車道・路肩部)	t = 5 0 mm	m2		60	
仮復旧工					
仮復旧		式		1	
表層(車道・路肩部)	t = 5 0 mm	m2		60	
防護柵工					
防止柵工					
金網・支柱(立入防止柵)		式		1	
金網(フェンス)・支柱(立入防止柵)	基礎ブロック 支柱間隔->2m	m		52	
標識工					
小型標識工					
標識柱		式		1	
標識柱・基礎設置 [路側式]	単柱式 柱径 φ60.5	基		2	

数量計算書

設計数量総括表

工 事 名	大久保 4 2 8 号線道路改良工事		事業区分			
			工事区分			
工事区分・工種・種別・細別	規 格	算 式 等	数 量	設 計 表 示 数 量	単 位	摘 要
道路土工						
作業土工						
床掘	土砂					
埋戻	1.0m未満					
基面整正						
購入土	再生碎石 RC-40					
排水構造物工						
側溝工						
プラスチックU型水路(300×300)	PUS233		2.4	2	m	
自由勾配側溝	B600×H1100		6.0	6	m	
自由勾配側溝	B600×H1200		11.5	11	m	
自由勾配側溝	B600×H1300		24.8	24	m	
自由勾配側溝	B600×H1400		24.1	24	m	
集水柵・マンホール工						
1号集水柵	1000×1550		1.0	1	箇所	
2号集水柵	800×800		1.0	1	箇所	
3号集水柵	1000×1500		1.0	1	箇所	

設計数量総括表

工 事 名	大久保428号線道路改良工事		事業区分			
			工事区分			
工事区分・工種・種別・細別	規 格	算 式 等	数 量	設 計 表 示 数 量	単 位	摘 要
構造物撤去工						
防護柵撤去工						
フェンス撤去	メッシュフェンス		52.2	52	m	
転落防止柵撤去	H=1.1m		2.5	2	m	
標識撤去工						
標識撤去			2.0	2	基	
道路付属物撤去工						
視線誘導標撤去			17.0	17	本	
構造物取壊し工						
コンクリート構造物取壊し	鉄筋		53.1	53	m3	
舗装版切断			63.0	63	m	
舗装版取壊し		90.1 × 2	180.2	180	m2	
運搬処理工						
コンクリート殻運搬	鉄筋		53.1	53	m3	
アスファルト殻運搬		180.2 × 0.05	9.0	9	m3	
コンクリート殻処分	鉄筋		53.1	53	m3	
アスファルト殻処分			9.0	9	m3	

設計数量総括表

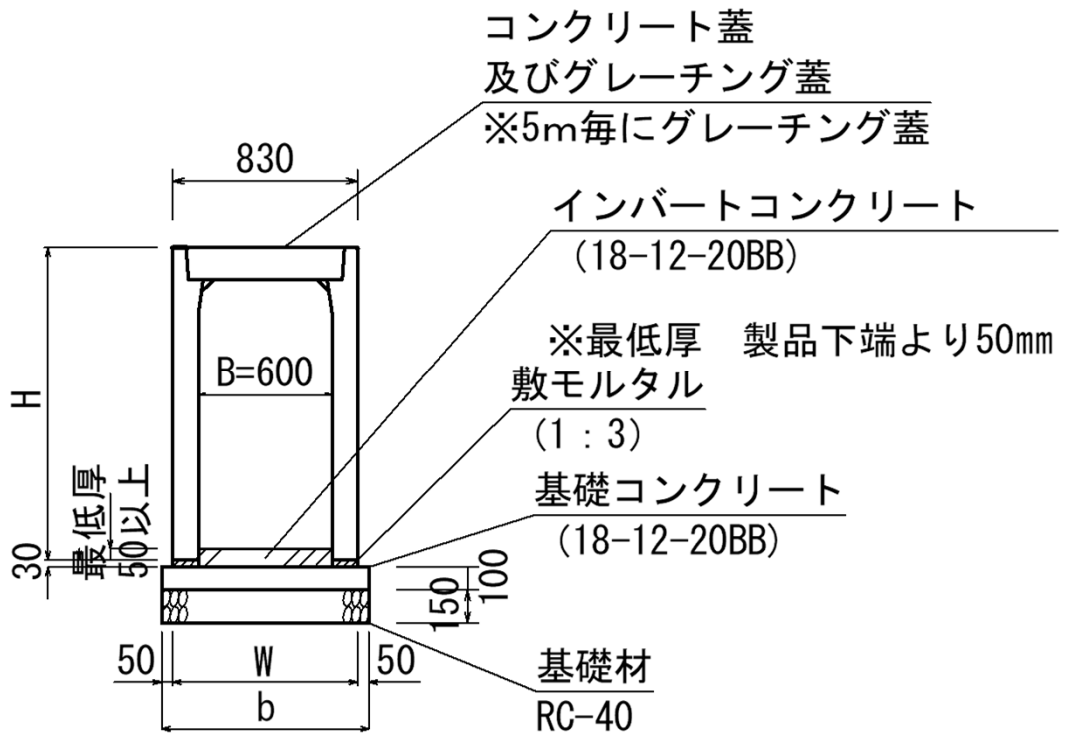
工 事 名	大久保 4 2 8 号線道路改良工事		事業区分			
			工事区分			
工事区分・工種・種別・細別	規 格	算 式 等	数 量	設 計 表 示 数 量	単 位	摘 要
舗装工						
舗装準備工						
不陸整正	補充材あり		60.3	60	m2	
アスファルト舗装工						
上層路盤	粒度調整碎石 M-30 t=10cm		60.3	60	m2	
表層	再生密粒度アスコン t=5cm		60.3	60	m2	
仮復旧工						
仮復旧	再生密粒度アスコン t=5cm		60.3	60	m2	
防護柵工						
防止柵工						
フェンス再設置	メッシュフェンス		52.2	52	m	
標識工						
小型標識工						
標識柱再設置			2.0	2	基	

設計数量総括表

工 事 名	大久保 4 2 8 号線道路改良工事		事業区分			
			工事区分			
工事区分・工種・種別・細別	規 格	算 式 等	数 量	設 計 表 示 数 量	単 位	摘 要
区画線工						
区画線工						
熔融式区画線	白色, W=15cm		61.2	61	m	

材料計算書

自由勾配側溝 (B600×H1100)



自由勾配側溝 (縦断用) 寸法

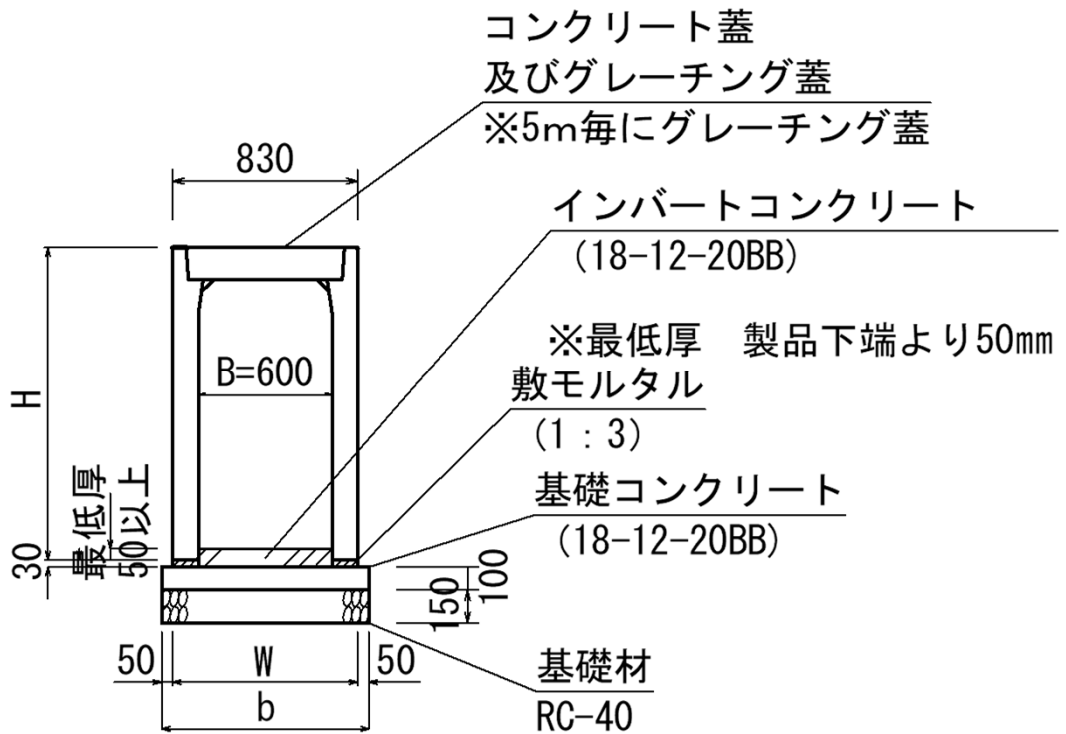
呼び名 B × H	各部の寸法 (mm)		
	H	W	b
600 × 1100 (縦断用)	1290	830	930
600 × 1200 (縦断用)	1390	830	930
600 × 1300 (縦断用)	1490	830	930
600 × 1400 (縦断用)	1590	830	930

10.0m当り数量

名称	規格	算式	単位	数量
自由勾配側溝	600×1100		m	10
グレーチング	T-25 L=500		枚	2
コンクリート蓋	L=500		枚	8

材料計算書

自由勾配側溝 (B600 × H1200)



自由勾配側溝 (縦断用) 寸法

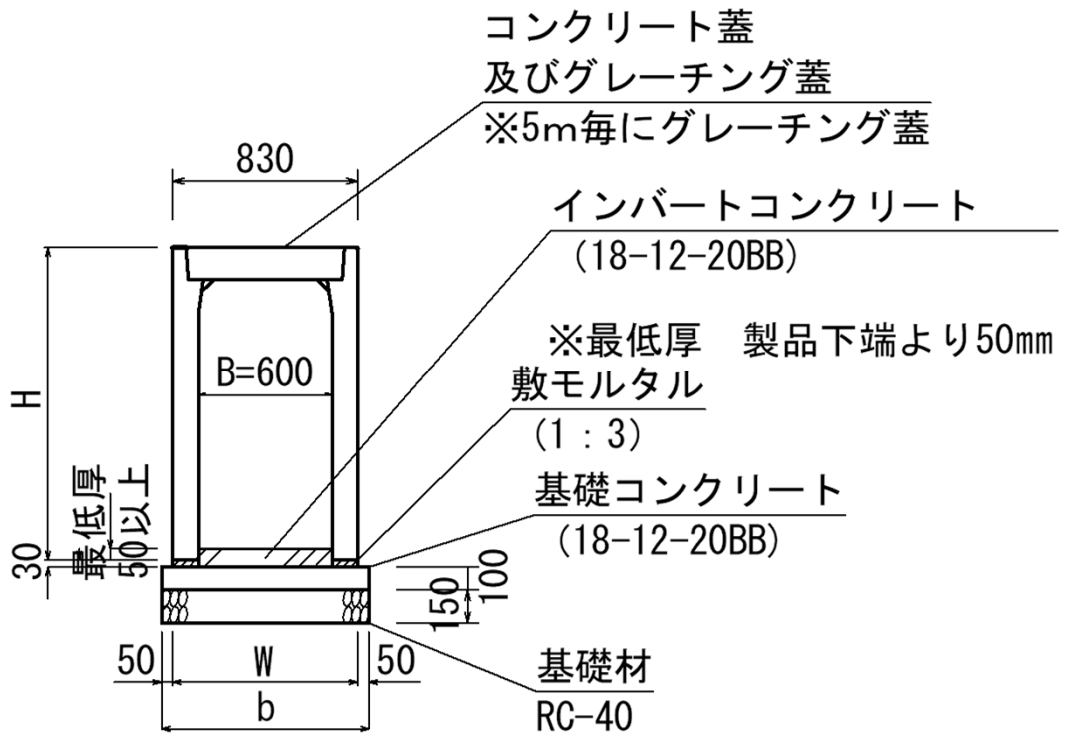
呼び名 B × H	各部の寸法 (mm)		
	H	W	b
600 x 1100 (縦断用)	1290	830	930
600 x 1200 (縦断用)	1390	830	930
600 x 1300 (縦断用)	1490	830	930
600 x 1400 (縦断用)	1590	830	930

10.0m当り数量

名称	規格	算式	単位	数量
自由勾配側溝	600 × 1200		m	10
グレーチング	T-25 L=500		枚	2
コンクリート蓋	L=500		枚	8

材料計算書

自由勾配側溝 (B600×H1300)



自由勾配側溝 (縦断用) 寸法

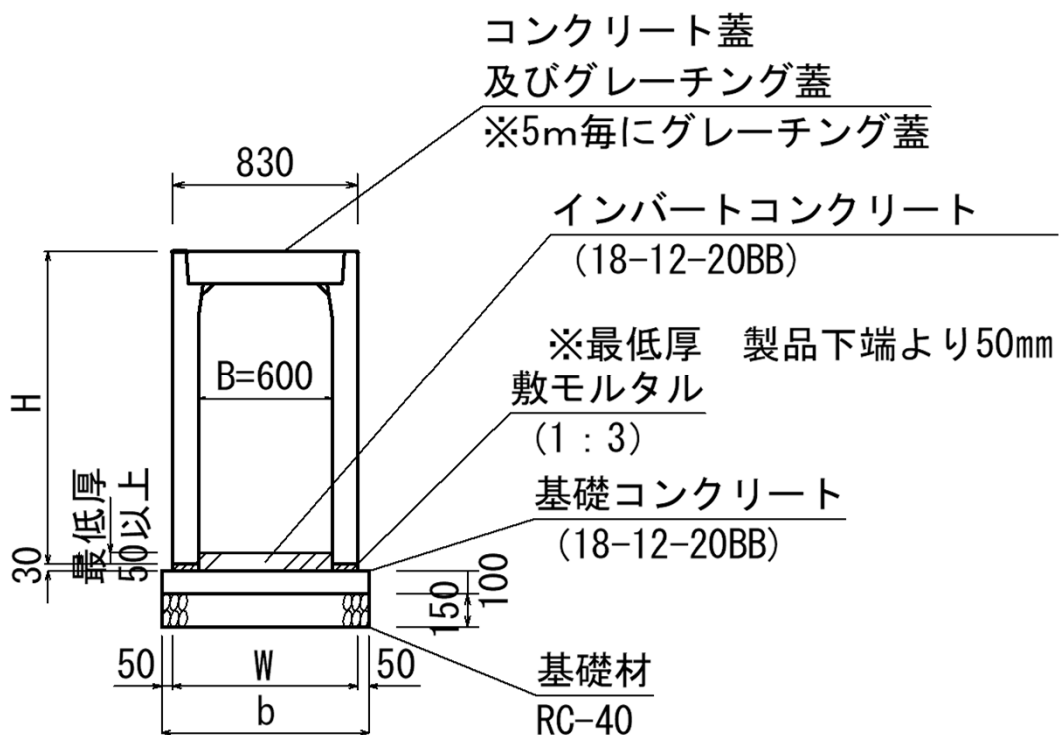
呼び名 B × H	各部の寸法 (mm)		
	H	W	b
600 × 1100 (縦断用)	1290	830	930
600 × 1200 (縦断用)	1390	830	930
600 × 1300 (縦断用)	1490	830	930
600 × 1400 (縦断用)	1590	830	930

10.0m当り数量

名称	規格	算式	単位	数量
自由勾配側溝	600×1300		m	10
グレーチング	T-25 L=500		枚	2
コンクリート蓋	L=500		枚	8

材料計算書

自由勾配側溝 (B600×H1400)



自由勾配側溝 (縦断用) 寸法

呼び名 B × H	各部の寸法 (mm)		
	H	W	b
600 × 1100 (縦断用)	1290	830	930
600 × 1200 (縦断用)	1390	830	930
600 × 1300 (縦断用)	1490	830	930
600 × 1400 (縦断用)	1590	830	930

10.0m当り数量

名称	規格	算式	単位	数量
自由勾配側溝	600×1400		m	10
グレーチング	T-25 L=500		枚	2
コンクリート蓋	L=500		枚	8

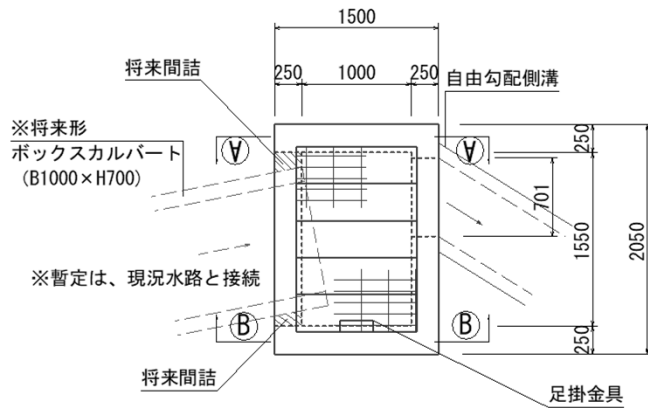
自由勾配側溝 インバートコンクリート数量計算書

測点	距離	製品高	天端高	水路底高	インバート厚	平均厚	面積	備考
NO. 1+2. 2		1. 29	23. 93	22. 75	0. 11			
	6. 00	1. 29	24. 03	22. 80	0. 06	0. 085	0. 51	B600×H1100 平均厚0. 085m
同点		1. 39	24. 03	22. 80	0. 16			
	11. 50	1. 39	24. 23	22. 89	0. 05	0. 105	1. 21	B600×H1100 平均厚0. 105m
同点		1. 49	24. 23	22. 89	0. 15			
NO. 2	0. 20	1. 49	24. 23	22. 89	0. 15	0. 155	0. 03	
	5. 80	1. 49	24. 29	22. 93	0. 13	0. 090	0. 52	
		1. 49	24. 31	22. 94	0. 12			
NO. 3	13. 00	1. 49	24. 45	23. 05	0. 09	0. 120	1. 56	
	5. 80	1. 49	24. 52	23. 09	0. 06	0. 075	0. 44	B600×H1100 平均厚0. 103m
同点		1. 59	24. 52	23. 09	0. 16			
折れ点	14. 00	1. 59	24. 70	23. 20	0. 09	0. 125	1. 75	
	10. 10	1. 59	24. 71	23. 28	0. 16	0. 125	1. 26	B600×H1100 平均厚0. 125m
合計	66. 40 ^m						7. 28 ^{m²}	

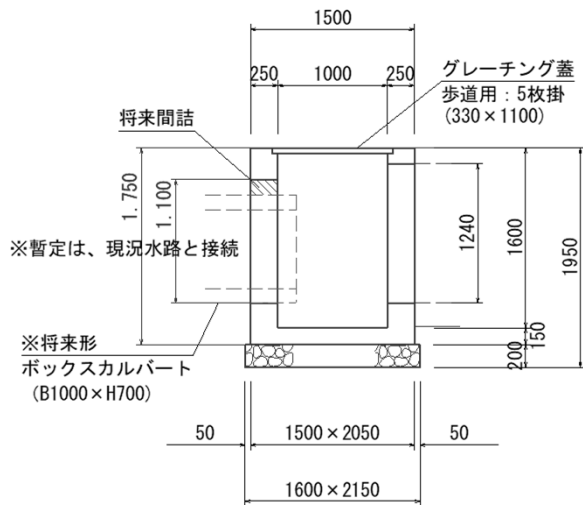
自由勾配側溝(W) 600 平均厚 t= Σ 面積/ Σ 距離= 0. 110 m
 インバートコンクリート V= 平均厚× Σ 距離×幅 4. 4 m³

材料計算書

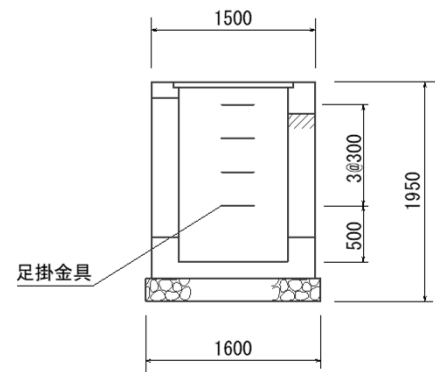
1号集水桝



側面 (A-A)



側面 (B-B)

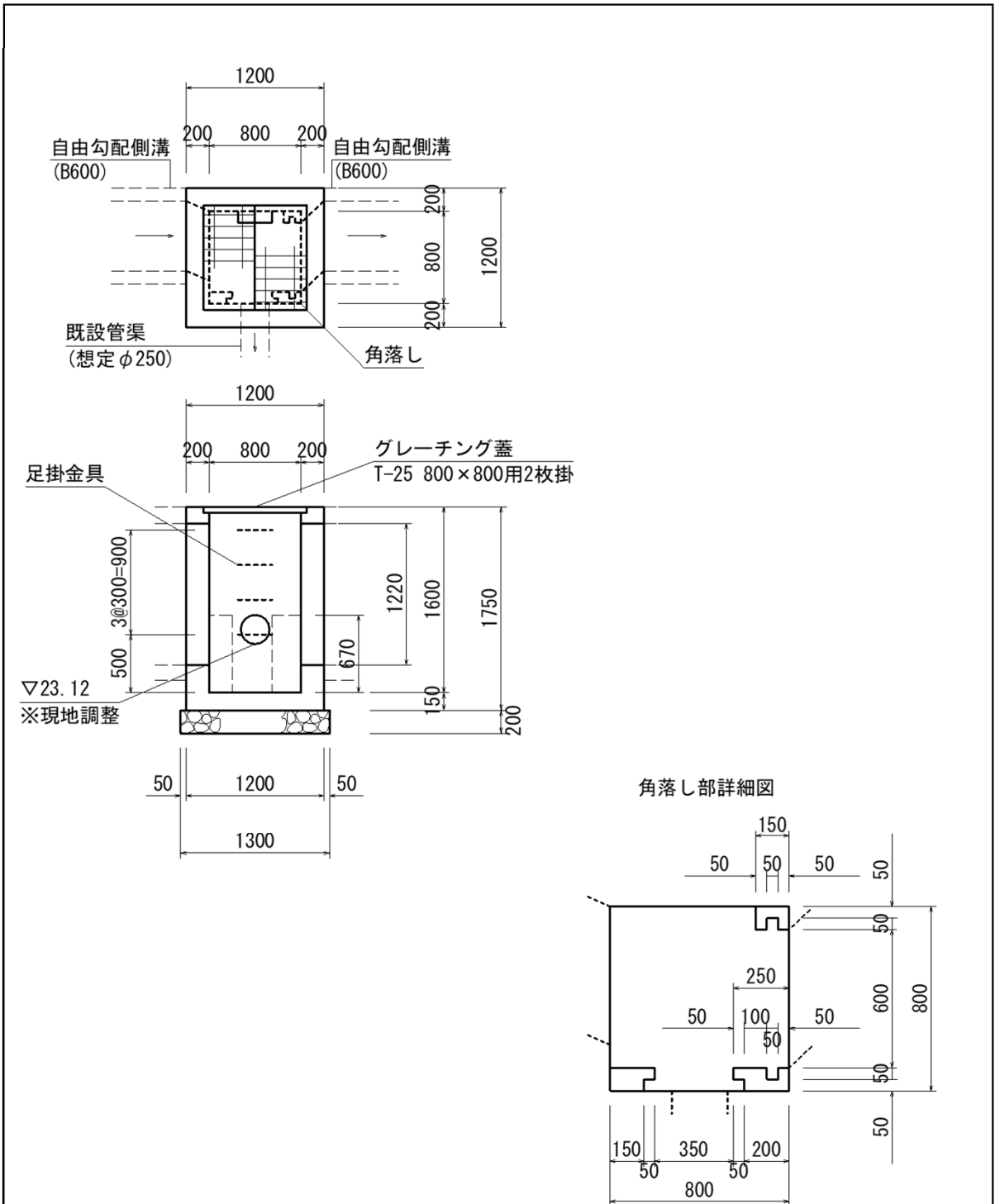


1箇所当り数量

名称	規格	算式	単位	数量
コンクリート	18-8-40BB	$2.05 \times 1.5 \times 1.75 - (1.55 \times 1.0 \times 1.6 + 1.55 \times 0.25 \times 1.1 + 0.701 \times 0.25 \times 1.24)$	m ³	2.3
型枠	無筋構造物	$(2.05 + 1.5) \times 2.0 \times 1.75 + (1.55 + 1.0) \times 2.0 \times 1.6 - (0.701 \times 1.24 \times 2 + 1.55 \times 1.1 \times 2) + 1.24 \times 0.25 \times 2 + 0.701 \times 0.25 + 1.1 \times 0.25 \times 2 + 1.55 \times 0.25$	m ²	17.2
基礎材	再生砕石	1.6×2.15	m ²	3.4
グレーチング	T-2 (1000×1550用)		枚	5
足掛け金物			個	4

材料計算書

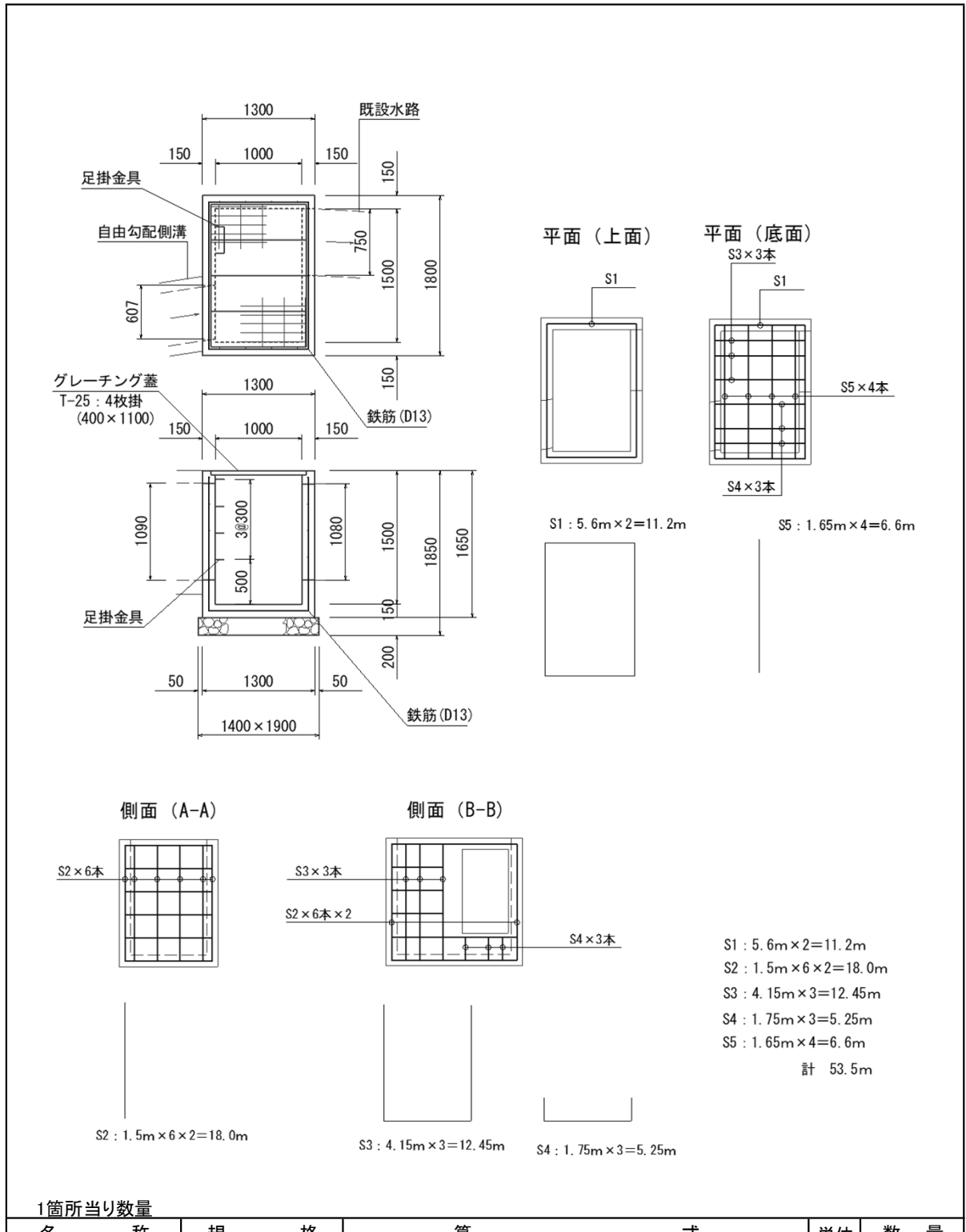
2号集水桝



1箇所当り数量				
名称	規格	算式	単位	数量
コンクリート	(本体部) 18-8-40BB	$1.2 \times 1.2 \times 1.75 - 0.8 \times 0.8 \times 1.6 - 0.6 \times 1.22 \times 0.2 \times 2$	m ³	1.2
コンクリート	(角落し部) 18-12-20BB	$(0.15 \times 0.1 + 0.2 \times 0.1 + 0.25 \times 0.1 - 0.05 \times 0.05 \times 4) \times 0.67$	m ³	0.1
型枠	(本体部) 無筋構造物	$(1.2 + 0.8) \times 4 \times 1.75 - 0.6 \times 1.22 \times 4 + 0.6 \times 0.2 \times 2 + 1.22 \times 0.2 \times 4$	m ²	12.3
型枠	(角落し部) 無筋構造物	$(0.15 + 0.1 + 0.25 + 0.1 + 0.2 + 0.1 + 0.05 \times 6) \times 0.67$	m ²	0.8
基礎材	再生碎石	1.3 × 1.3	m ²	1.7
グレーチング	T-25 (800 × 800用)		枚	2
足掛け金物			個	4

材料計算書

3号集水桝



1箇所当り数量

名称	規格	算式	単位	数量
コンクリート	18-8-40BB	$1.8 \times 1.3 \times 1.65 - 1.5 \times 1.0 \times 1.5 - (0.75 \times 1.08 \times 0.15 + 0.607 \times 1.09 \times 0.15)$	m ³	1.4
型枠	鉄筋構造物	$(1.8+1.3) \times 2 \times 1.65 + (1.5+1.0) \times 2 \times 1.5 - (0.75 \times 1.08 \times 2 + 0.607 \times 1.09 \times 2)$	m ²	14.8
基礎材	再生碎石	1.4×1.9	m ²	2.7
グレーチング	T-25 (1000×1500用)		枚	4
足掛け金物			個	4
鉄筋(D13)	0.995kg/m	$53.5 \times 0.995 / 1000$	t	0.05

構造物撤去工 数量計算書

測点	測点間距離	補正距離	舗装版取壊し			コンクリート取壊し			備考
			断面	平均	立積	断面	平均	立積	
	m	m	m	m	m ²	m ²	m ²	m ³	
NO.1+1.9	-		1.0		-	1.1		-	NO.2準用
NO.2	18.10		1.0	1.00	18.1	1.1	1.10	19.9	
NO.2+14	14.00		1.0	1.00	14.0	1.1	1.10	15.4	NO.2準用
同点	0.00		0.5	0.25	-	0.8	0.40	-	NO.3準用
NO.3	6.00		0.5	0.50	3.0	0.8	0.80	4.8	
NO.4	20.00		5.0	2.75	55.0	0.5	0.65	13.0	
合計	58.1				90.1			53.1	

舗装工 数量計算書

測点	測点間 距離	補正 距離	アスファルト舗装			断面	平均	平積	備考
			断面	平均	平積				
	m	m	m	m	m^2	m^2	m^3		
NO.1+1.9	-		1.03		-			NO.2準用	
NO.2	18.10		1.03	1.030	18.6				
NO.3	20.00		1.03	1.030	20.6				
No.4	20.00		1.08	1.055	21.1				
合計	58.1				60.3			-	

特記仕様書

工 事 名	大久保 428 号線道路改良工事
工 事 場 所	明石市大久保町大窪地内
工 期	契約締結日の翌日から令和 5 年 3 月 31 日まで ※ただし、本件にかかる予算について、市議会での次年度への繰越承認、国庫補助事業などの繰越承認がなされたときは、令和 5 年 5 月 31 日までとする工期延期を行う予定である。

第 1 条 総則

1-1. 適用

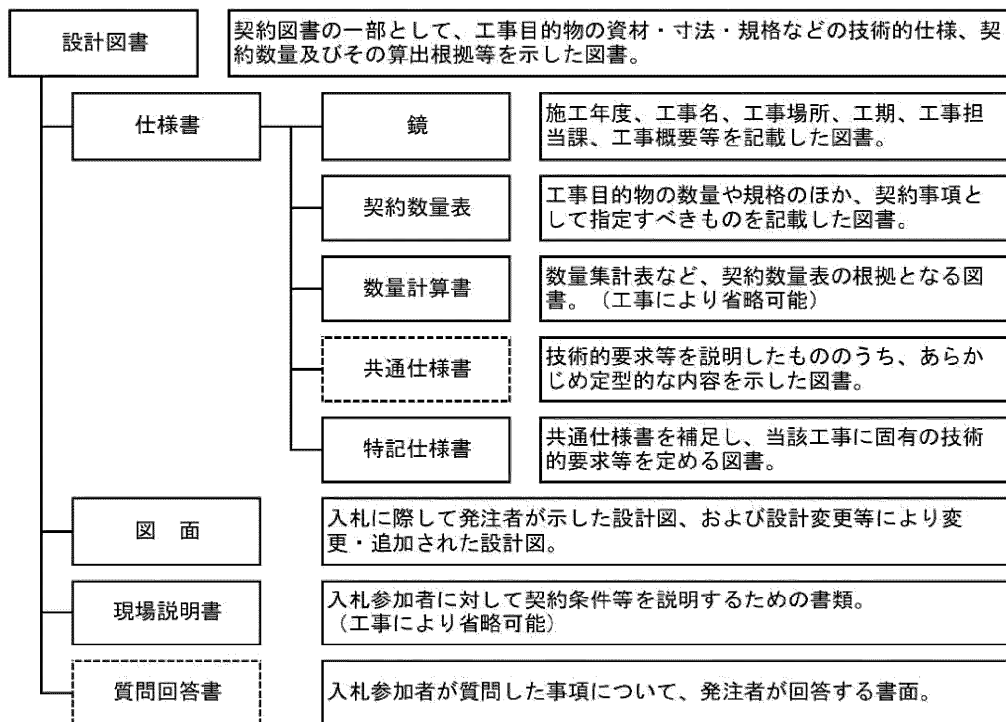
本仕様書は、明石市都市局道路安全室道路整備課が発注する『大久保 428 号線道路改良工事』に適用する。

設計図書に記載されていない事項は、兵庫県土木請負工事必携（令和 4 年 10 月一部改訂版）、兵庫県土木工事共通仕様書（令和 4 年 10 月一部改訂版）、兵庫県土木工事施工管理基準（令和 4 年 10 月一部改訂版）ならびに、「小型構造物標準図集」（平成 30 年 9 月（第 3 回改訂版）兵庫県県土整備部）（以下、「小型図集」と称する。）によるものとする。（その他追加・改訂通知を含む）

1-2. 設計図書

本工事においては、明石市工事請負契約約款第 1 条に規定するものを設計図書とし、図 1 の構成とする。

設計図書の他に交付する「見積参考図書」とは入札（見積）参加者の適正かつ迅速な見積に資するための資料で図 2 の構成とし、明石市工事請負契約約款第 1 条でいう設計図書ではない。従って、「見積参考図書」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は施工条件及び地質条件等を十分考慮して、仮設、施工方法及び安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について、受注者の責任において定めるものとする。なお、「見積参考図書」の有効期限は、本工事の入札（開札日）までとする。



※ 共通仕様書 破線で示す共通仕様書と質問回答書は案件により添付しない場合がある。

図1 設計図書の構成

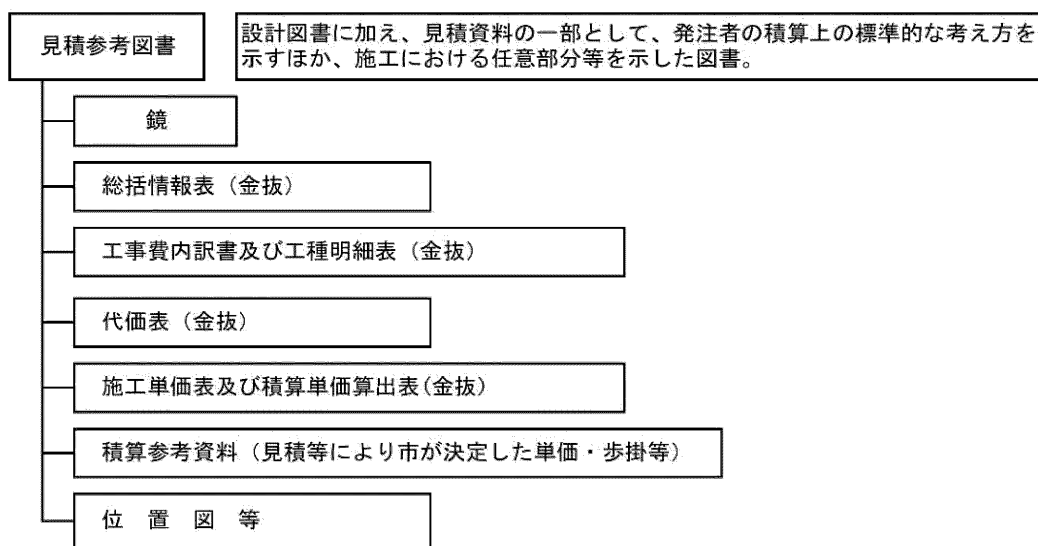


図2 見積参考図書の構成

1-3. 現場代理人の兼務

本工事については、現場代理人の他工事との兼務を認める。

1-4. 施工範囲に関する留意事項

工事内容のうち、現場条件等（現況地盤の状況等）により工事内容を変更する可能性がある。よって、工事着手前に工事内容について監督員の確認を受けるものとする。なお、工事内容に変更を伴う場合は、監督員の指示によるものとし、設計変更の対象とする。

1-5. 設計図書の照査

受注者は、施工前及び施工途中において、自らの費用負担において設計図書の照査を行い、施工条件と工事現場が一致しない等の事実を発見したときは、監督員にその事実が確認できる資料を書面により提出し、確認を求めなければならない。

1-6. 施工計画書

受注者は、工事着手前に施工計画書を監督員に提出し、監督員の承諾を得た後に着手しなければならない。

1-7. 工事カルテ

受注者は、受注時または変更時において工事請負代金額が 500 万円以上の工事について、工事实績情報サービス (CORINS) に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事实績情報として「登録のための確認のお願い」を作成し、受注時は契約後、土曜日、日曜日、祝日等を除き 10 日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から土曜日、日曜日、祝日等を除き 10 日以内に、完成時は工事完成後 10 日以内に、監督員の確認を受けたうえ、登録機関に登録申請しなければならない。なお、登録内容に訂正が必要な場合は、工事实績情報サービス (CORINS) に基づき、「訂正のための確認のお願い」を作成し、訂正があった日から 10 日以内に、監督員の確認を受けたうえ、登録機関に登録申請しなければならない。

変更登録は、工期又は技術者に変更が生じた場合に行うものとし、工事請負代金のみ変更の場合は、原則として登録を必要としない。ただし、工事請負代金額が 2,500 万円を跨いで変更があった場合には、変更後の請負代金額に則った登録を行うものとする。

また、登録機関発行の「登録内容確認書」が受注者に届いた際には、その写しを直ちに監督員に提出しなければならない。なお、変更時と完成時の間が 10 日に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。

1-8. 施工体制台帳

(施工体制台帳)

施工体制台帳の提出が必要な工事について、受注者は、所定様式 (工事担当技術者) を追加して施工体制台帳を作成し工事現場に備えるとともに、監督員に提出するものとする。なお、様式には監理技術者、主任技術者 (下請負を含む) 及び元請負の専門技術者 (専任している場合のみ) の顔写真、氏名、生年月日、所属会社名を記載するものとする。

下請負に関する契約書の写しは、施工体制台帳に添付するものとし、現地に備え付けるものとする。

(現場の管理)

受注者は、監理技術者、主任技術者 (下請負を含む) 及び元請負の専門技術者 (専任している場合のみ) に、工事現場内において、工事名、工期、顔写真、所属会社名及び社印の入った名札を着用させるものとする。

施工体系図は、現地の見やすい場所に掲示すること。

工事関係車両の夜間駐車及び現場外駐車を行わず適切な管理を行うこと。

1-9. 建設副産物

(再生資源の利用の促進)

受注者は、建設副産物適正処理推進要綱（建設事務次官通達、平成 14 年 5 月 30 日）を遵守して、建設副産物の適正な処理及び再生資源の活用を図らなければならない。

1. 提出様式

本工事については、再生資源の活用の促進に関する法律に基づく再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成するものとする。

なお、再生資源利用計画、再生資源利用促進計画及びその実施状況の記載する様式については、建設副産物対策近畿地方連絡協議会が発行する再生資源利用【促進】計画書（実施書）を使用するものとする。

2. 提出方法

作成した再生資源利用【促進】計画書（実施書）は、1 部は自社で工事完成後 1 年間保管し、計画書は 1 部、実施書は 1 部と再生資源利用【促進】入力システムを用いて作成した実施書を監督員に提出するものとする。

- ・ 工事着手前：「再生資源利用促進計画書」

施工計画書に計画書を添付する。

- ・ 工事完成後：「再生資源利用促進実施書」

書面による計画書・実施書及び実施書を竣工図書として提出する。

(ガラ処分について)

1. 本工事は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律「建設リサイクル法」に基づき、特定建設資材の分別解体等及び再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。

2. アスファルト・コンクリートガラは、中間処理（再資源化）とする。

ガラ運搬については処分地まで直接運搬とする。

又、ガラの運搬に際し、シート等にて飛散しないようにし、一般利用者に迷惑のかからないように留意すること。

交通法規を遵守し、特に過積載のないよう管理すること。

特定建設資材廃棄物の搬出先は、積算条件として、以下を設定している。

再資源化等をする施設の名称及び所在地等

特定建設資材廃棄物の種類	コンクリート（鉄筋）（機械）
施設の名称	①(株)明神リサイクルセンター ②(株)美健
運搬距離	①3.2km ②3.2km
所在地	①神戸市西区平之町中津 1337 ②神戸市西区上新地 3 丁目 12- 4
受入等諸条件	県土整備部の「建設副産物の処理ならびに受入価格」に掲載される当該施設の受入条件を遵守すること。
その他	監督員の指示による。

特定建設資材廃棄物の種類	アスファルト殻（小規模）
施設の名称	(株)美健
運搬距離	3.2km
所在地	神戸市西区上新地 3 丁目 12- 4
受入等諸条件	県土整備部の「建設副産物の処理ならびに受入価格」に掲載される当該施設の受入条件を遵守すること。
その他	監督員の指示による。

上表については、積算条件を明示しているものであり受入施設を指定するものではない。

受注者は、県登録施設から搬出先施設を選定し、共通仕様書に基づき施工計画書に含め、監督員に提出しなければならない。なお、受注者の選定した施設が、積算条件と異なる場合においても設計変更は行わない。

ただし、上表の施設が工事発注後に県登録施設からの登録抹消等により受け入れ困難となった場合は、設計変更を行う。

1-10. 段階確認

受注者は、兵庫県土木工事共通仕様書に定める工種については、事前に立会願を監督員に提出し、段階確認を受けなければならない。

1-11. 履行報告

受注者は、工事履行報告書を別添の様式に基づき作成し、工程表及び工事状況写真を添付し、毎月末に監督員に提出しなければならない。

1-12. 工事中の安全確保

(法令遵守)

受注者は、関係諸法規を遵守し、現場内外の安全管理に万全を期し、工事施工に伴う諸手続きは、受注者の責任において関係諸官庁に提出し許可を得ること。

(地下埋設物件の事故防止)

1. 工事の施工にあたって予想される地下埋設物件は、管理者と現地立会のうえ、当該物件の位置・深さを確認し、保安対策について十分打合せを行い、事故の発生を防止すること。
2. 受注者の責により地下埋設物件に損害を与えた場合は、すみやかに監督員に報告するとともに関係機関に連絡し応急措置をとり、受注者の負担によりこれを補修しなければならない。
3. 埋設物件等の管理者不明のものがある場合は、監督員に報告し、その処置については、占用企業者全体の立会を求め、管理者を明確にしなければならない。その結果、死管の処置を受注者が企業者より依頼を受けた場合には、文書によってその責任を明確にしておかなければならない。

(道路付属物ならびに占用物件の処置)

工事施工のため支障となる道路の付属物並びに占用物件がある場合には、その処置について予め監督員と打合せを行うものとする。

1-13. 環境対策

(低騒音型・超低騒音型の使用)

本工事箇所は、特に生活環境を保全する必要がある地域であるので、施工にあたっては、低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定にもとづき指定された建設機械を使用すること。

(排出ガス対策型建設機械)

本工事において下表に示す建設機械を使用する場合は、排出ガス対策型建設機械指定要領に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用するものとする。

なお、排出ガス対策型建設機械を使用できない場合は、「建設技術評価制度」又は「民間開発建設技術の審査証明事業」により評価された「排出ガス浄化装置」を装着した建設機械を使用することで同等とみなす。

ただし、これにより難しい場合は、監督員と協議するものとする。

上記において、「これにより難しい場合」とは、受注者の都合で調達できない場合を含むものとする。

なお、施工現場において使用する建設機械が排出ガス対策型建設機械であることを確認できる写真を撮影し、完成書類として提出するものとする。

機 種	備 考
<ul style="list-style-type: none"> ・バックホウ ・トラクタショベル（車輪式） ・ブルドーザー ・発動発電機（可搬式、溶接兼用機含） ・路面切削機（ホイール式・廃材積込装置付） ・空気圧縮機（可搬式） ・油圧ユニット <p>（以下に示す基礎工事用機械のうち、ベアマシンとは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載しているもの：油圧ハマ、ハイブロンマ、油圧式鋼管圧入・引抜機、油圧式杭圧入・引抜機、アースオーガ、ホルケーシング掘削機、リバースサーキュレーションドリル、アースドリル、地下連続壁施工機、全回転型ホルケーシング掘削機）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロードローラ、タイヤローラ、振動ローラ ・ホイールクレーン 	<p>ディーゼルエンジン （エンジン出力7.5kw以上、260kw以下）を搭載した建設機械に限る</p>

1-14. 交通安全管理

（安全対策費）

安全対策については、交通誘導員を計上しているが、道路管理者及び所轄警察署の打合せの結果により変更等が生じた場合は監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。また、条件変更及び受注者にて特に必要と認めた場合は、その対策等について監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

（安全施設類）

標識類、防護柵等の安全施設類については、現場条件に応じて設置する他、道路管理者及び所轄警察署と打合せを行い実施するものとする。なお、打合せの結果又は条件変更等に伴い、道路保安施設設置基準（案）以上の保安施設類が必要な場合、監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

（交通誘導員の配置）

交通誘導員については、道路管理者及び所轄警察署の打合せの結果に従い適正に配置し、道路使用許可証（警察署提出）を遵守すること。打合せの結果又は、条件変更に伴い員数に増減が生じた場合は、設計図書に関して監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

なお、交通誘導員 A、B の定義は次のとおり。

交通誘導員 A : 警備業者の警備員（警備業法第2条第4項に規定する警備員をいう。）で、交通誘導警備業務（警備員等の検定等に関する規則第1条第4号に規定する交通誘導警備業務をいう。）に従事する交通誘導警備業務に係る1級検定合格警備員又は2級検定合格警備員

交通誘導員 B : 警備業者の警備員で、交通誘導員 A 以外の交通の誘導に従事するもの。

(交通誘導員の配置)

本工事における交通整理箇所については、作業中は交通誘導員を常時配置するものとし、休憩時等における交替要員を考慮するものとする。

施工内容	編成	昼夜間	備考
本工事	交通誘導員 B : 5 名	昼間	人数に交替誘導員 1 名含む

(安全教育・研修訓練)

工事現場における安全対策の重要性に鑑み、全工事・全作業員を対象とし、次の各号から実施する内容を選択し、定期的に安全教育・研修訓練を行うものとする。また、実施項目については、施工計画書に本工事の内容に即した安全・訓練等の具体的な計画を作成し、監督員に提出するものとする。

- 1) 安全活動のビデオ等視覚資料による安全教育
- 2) 当該工事内容等の周知徹底
- 3) 土木工事安全施工技術指針等の周知徹底
- 4) 当該工事における災害対策訓練
- 5) 当該工事現場で予想される事故対策
- 6) その他、安全・訓練等として必要な事項

安全教育・研修訓練は、工事期間中月 1 回（半日）以上実施し、監督員に実施状況報告書を提出するものとする。

なお、安全教育・研修訓練に要する必要な費用（労務者の日当）は、現場管理費に含んでいる。

1-15. 諸法令の遵守

(道路法等の遵守)

受注者は、道路法、道路運送車両法及び道路交通法の趣旨に基づき、資材運搬等に必要車両の諸元について当該法律を遵守しなければならない。

(過積載による違法運行の防止について)

受注者は過積載防止について、その具体的内容を施工計画書に記載するものとする。

(不正軽油の使用の禁止)

1. 受注者は、工事の施工にあたり、使用する車両及び建設機械等の燃料として、不正軽油（地方税法第 700 条の 22 の 2（製造等の承認を受ける義務等）の規定に違反する燃料をいう。）を使用してはならない。
2. 受注者は、不正軽油の使用が判明した場合には、速やかに是正措置を講じなければならない。

(特殊車両通行許可制度の徹底)

道路法第 47 条の 2 に基づく通行許可の確認において、受注者は以下の資料を監督員に提出し、確認を受けなければならない。

車両制限令第 3 条における一般制限値を超える車両について

- 1) 施工計画書に一般的制限値を超える車両を記載
- 2) 出発地点、走行途中、現場到着地点における写真（荷姿全景、ナンバープレート等通行許可書と照合可能な写真）
なお、走行途中の写真撮影が困難な場合は、監督員の承諾を得て省略可能
- 3) 通行許可書の写し
- 4) 夜間通行が条件の場合、車両通行記録計（タコグラフ）の写し

第2条 材料

2-1. 適用

（品質規格）

本工事に使用する材料の品質規格は、共通仕様書及び「小型図集」によるものとする。

2-2. セメントコンクリート製品

本工事に使用するセメントコンクリート製品は、共通仕様書及び「小型図集」によるものとする。なお、「小型図集」に示す構造規格を満足する側溝等の使用にあたっては、監督員の承諾を得て使用することができるものとし、それに係る請負代金の変更は行わないものとする。

2-3. アスファルト舗装及び路盤

（アスファルト混合物）

1. 受注者は、加熱アスファルト混合物を使用する場合は、以下の資料を提出し承諾を受けなければならない。
 - 1) アスファルト合材配合統一用紙を提出した合材を使用する場合
アスファルト混合物配合設計総括表を提出すること。
ただし、監督員が必要を認めた場合には、アスファルト混合物設計のバックデータ及び使用材料の試験成績表の資料を提出しなければならない。
 - 2) アスファルト混合物事前審査委員会が認定した合材を使用する場合
事前審査制度認定書（認定書、混合物総括表）の写しを監督員に提出しなければならない。
 - 3) 上記によらない場合
共通仕様書第2編材料編第2章材料第18節アスファルトコンクリートによらなければならない。
2. アスファルト合材統一用紙を提出した混合物またはアスファルト混合物事前審査制度認定混合物を使用する場合は、土木工事共通仕様書によらず、アスファルト混合物及びその材料に関する品質証明、試験成績表の提出並びに配合設計、試験練りを省略することができる。
3. 配合統一用紙または事前審査制度認定書による場合の「品質管理基準」の材料及びプラントについては、以下のとおりとする。

工種	種別	試験区分	試験項目	試験基準	
				配合統一用紙	事前審査制度認定書
ア ス フ ア ル ト 舗 装	材 料	必須	塑性変形輪数	混合所自主管理*1	混合所自主管理*2
			土木施工管理基準 「品質管理基準」の全項目	アスファルト混合物配 合設計総括表の提出に かえるものとする。	事前審査制度認定書 (認定書、混合物総括 表)の提出にかえるも のとする。
		その他	土木施工管理基準 「品質管理基準」の全項目		
	プ ラ ン ト	必須	試験配合		
			混合物のアスファルト量抽出 混合物の粒度分析試験 湿度測定(混合物)	混合所自主管理*1	混合所自主管理*2
			基準密度の決定	アスファルト混合物配 合設計総括表の提出に かえるものとする。	事前審査制度認定書 (認定書、混合物総括 表)の提出にかえるも のとする。

※1 監督員から指示のあった場合は、試験結果を提出するものとする。

※2 監督員から指示のあった場合は、試験結果一覧表を提出するものとする。

第3条 その他

3-1. 産業廃棄物管理票

受注者は、本工事で排出される建設廃棄物を現場外に搬出して処理（再資源化施設、積み替え保管場所経由で最終処分）する場合、産業廃棄物管理票（マニフェスト）により、適正に処理されていることを確認するものとする。

3-2. 工事測量

工事着手後直ちに測量を実施し、測量標（仮BM）、用地境界、中心線、縦断、横断等を確認しなければならない。

測量結果が設計図書に示されている数値と差異を生じた場合は速やかに監督員へ報告するとともに、指示を受けること。

3-3. 品質管理

コンクリート構造物に使用するコンクリートの水セメント比は、鉄筋コンクリートについては55%以下、無筋コンクリートについては60%以下としなければならない。

鉄筋のかぶりを確保するためスペーサーを構造物の側面については1㎡につき2個以上、底面については4個以上設置すること。

レディミクストコンクリートの使用にあたっては、品質確保の観点から、「2012年制定コンクリート標準示方書（施工編）」に基づき、工場を選定すること。

3-4. 写真管理

工事写真の管理については、写真管理基準（土木工事施工管理基準）に準じるものとし、デジタル写真で提出する場合は、デジタル写真管理情報基準（案）に準じること。

3-5. 注意事項

1. 関係各署における各届出書は期限までに必ず提出すること。
2. 関係機関における連絡は確実に実施すること。特に地元自治会や小学校等において工事のPRを市の監督員と協議し、徹底すること。施工時期、施工方法、施工時間については各関係機関の承諾を得てから施工すること。
3. 通学路の安全対策事業を実施するにあたっては、通学児童等の交通安全を確保するとともに小学校と密に連絡調整を行うこと。
4. 民地との取り合い部において、隣接者と高さ等の調整が発生する場合は、各隣接者に個別に対応を行うこと。
5. 各工事中のすりつけ及び段差表示等安全対策は、特に徹底すること。民地や現道とのすりつけは入念に行うものとし、段差が生じる場合には、注意看板の設置や夜間照明等の安全対策を行うこと。
6. 工事中の仮区画線の明示・工事予告看板の設置を徹底すること。
7. 本工事の施工上知り得た情報を他人に漏らしたり、利用しないこと。
8. 各工種においては、現地の状況等により数量変更の可能性があることを認識し、変更が生じた場合は監督員と協議し速やかに対応すること。
9. 最終の設計変更に伴う資料については、工期の1ヶ月前までに受注者が十分精査したうえで提出すること。
10. 設計図書に変更が生じた場合や、その他地元協議等によるものも含め変更に伴う測量・施工図面の修正・新規追加及び数量計算については、受注者の負担により行うこと。
11. 工事完了時、出来形成果表及び完成図面を紙ベース（1部）並びに電子データにて監督員へ提出するものとする。
12. 公共基準点の有無について確認し、監督員に報告すること。公共基準点の周辺にて施工する場合は、「明石市公共基準点管理保全要綱」に基づき適正に申請及び復元等の処理をすること。
13. 施工の影響でやむを得ず官民境界標を亡失した場合は、必ず復旧すること。
14. 安全施設類においては、周辺住民の生活環境への配慮をすること。
15. 受注者は、施工に際し周辺構造物等の保全について十分配慮し、事前・事後の確認を行い、損傷を及ぼした場合は、受注者の責任において真摯に対応し、原形復旧すること。
16. 既設水路部等において劣化・損傷がある場合、監督員に報告の後、施工方法を協議した上で、監督員の承諾を得た後に施工すること。
17. 本工事は、農業用水路を付け替える工事であるため、農繁期を迎える令和5年4月末までに現場作業を完了させること。
18. 側溝工の自由勾配側溝は、製品製作までに時間を要することが想定されるため、受注後速やかに設計照査を行い、打合せ簿等で監督員の確認を得たのち、製品を発注すること。
19. No. 2付近の電柱は移設予定である。関西電力およびN T T等と密に工程調整を行うこと。

20. 施工箇所にガス管が近接しているため、細心の注意を払って施工にあたること。
21. 集水桝の構造及びグレーチング蓋の種類等は、水路管理者等との協議により変更となる可能性がある。変更が生じた場合は、監督員と協議のうえ、設計変更の対象とする。
22. 舗装厚は現道舗装に合わせることにし、施工時に舗装厚を確認すること。
23. 1号集水桝は、将来的にボックスカルバート接続となるが、暫定的に現況水路と接続すること。

広域位置図



釜谷池

大久保北
中学校

山手小学校

東播都市計画道路事業
3.4.510号 山手環状線
3.5.519号 大久保石ヶ谷線



国道2号

JR大久保駅

位置図



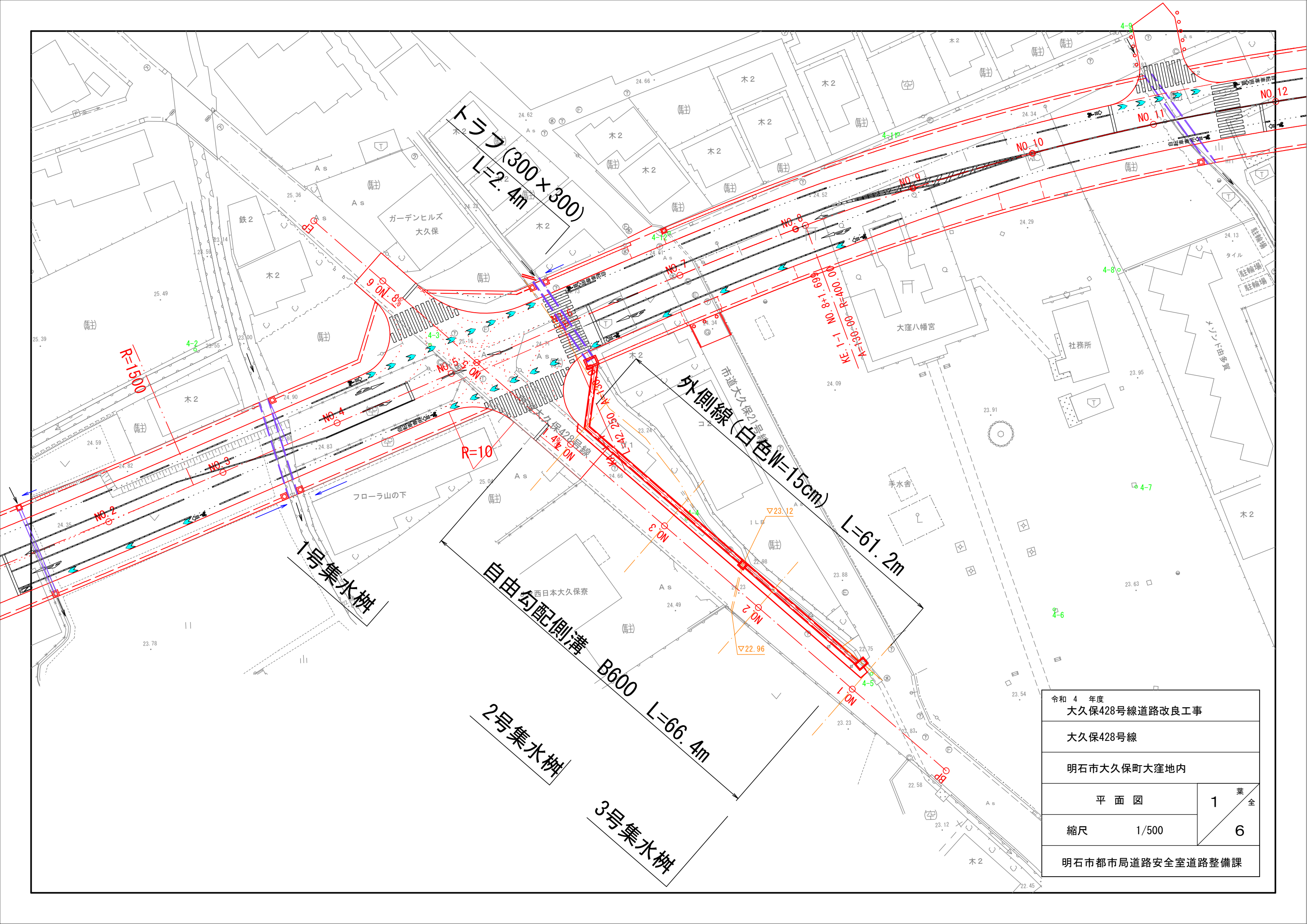
県道大久保稲美加古川線

大久保北中学校

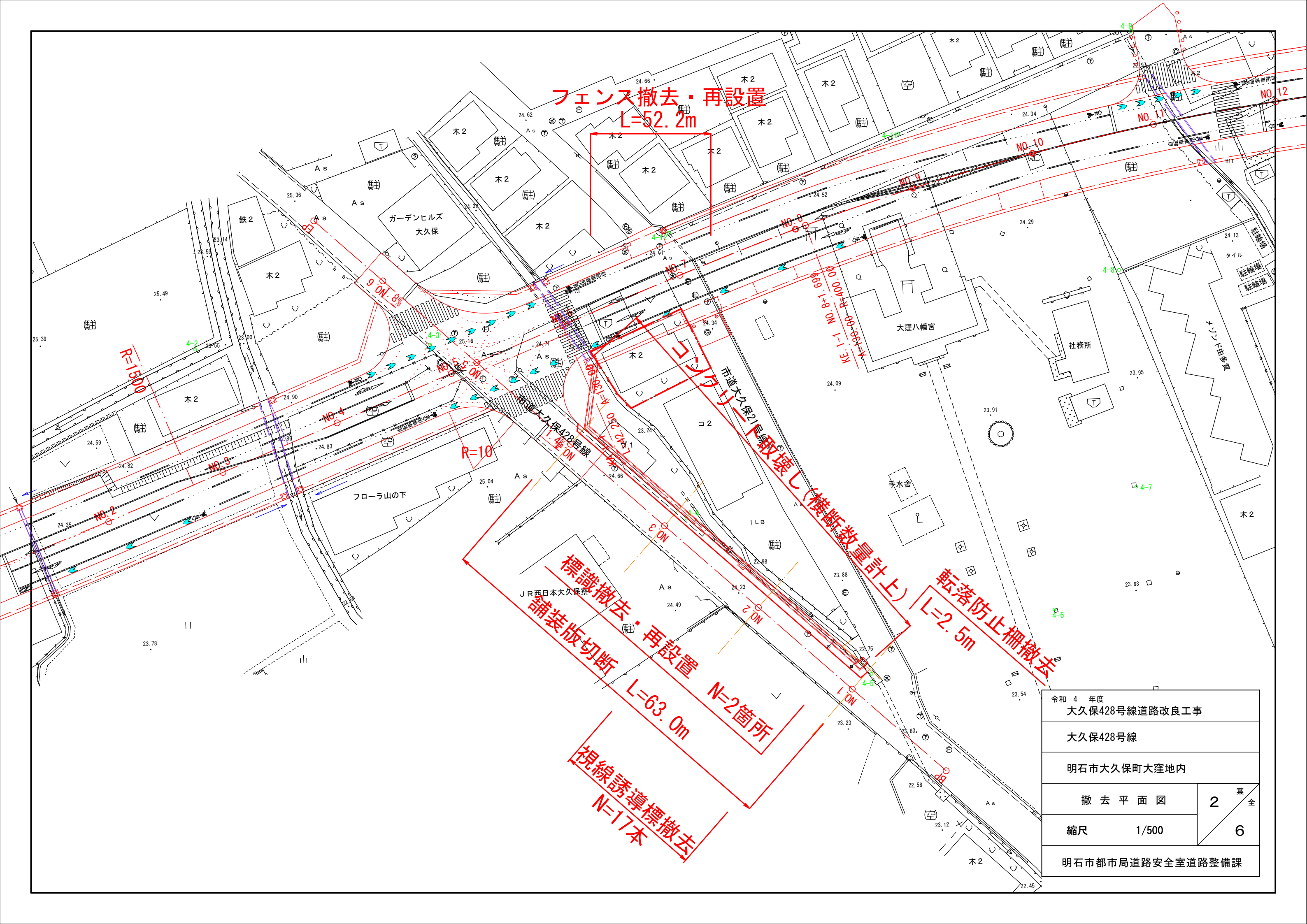
山手小学校

大久保428号線

大窪八幡宮



令和 4 年度 大久保428号線道路改良工事	
大久保428号線	
明石市大久保町大窪地内	
平面図	1 / 6 葉全
縮尺	1/500
明石市都市局道路安全室道路整備課	



フェンス撤去・再設置
L=52.2m

標識撤去・再設置 L=63.0m N=2箇所

視線誘導標撤去
N=17本

転落防止柵撤去
L=2.5m

令和 4 年度 大久保428号線道路改良工事	
大久保428号線	
明石市大久保町大窪地内	
撤去平面図	2 / 6 葉全
縮尺	1/500
明石市都市局道路安全室道路整備課	

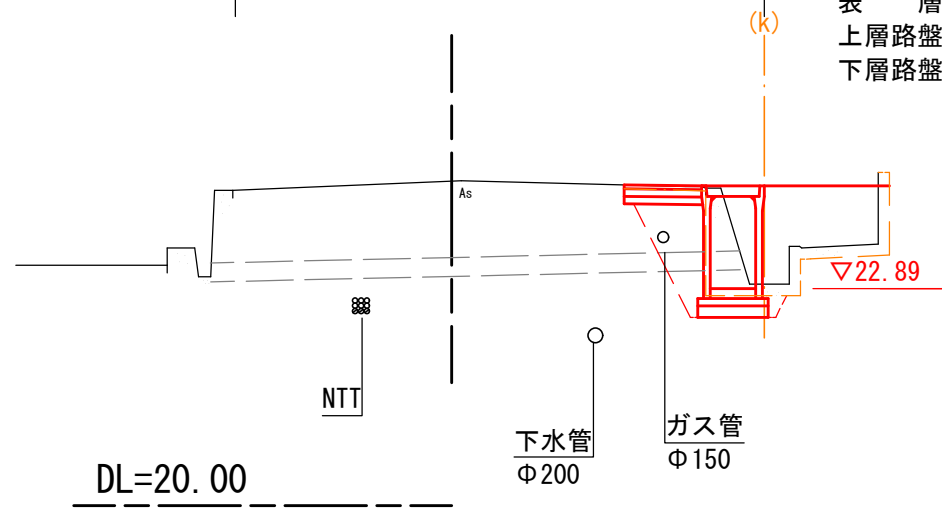
NO. 2

GH=24.22
FH=

(7.00)

床 掘 : 1.3
埋 戻 : 2.7
As取壊し : 1.0
Co取壊し : 1.1

表 層 : 1.03
上層路盤 : 1.03
下層路盤 : 1.03



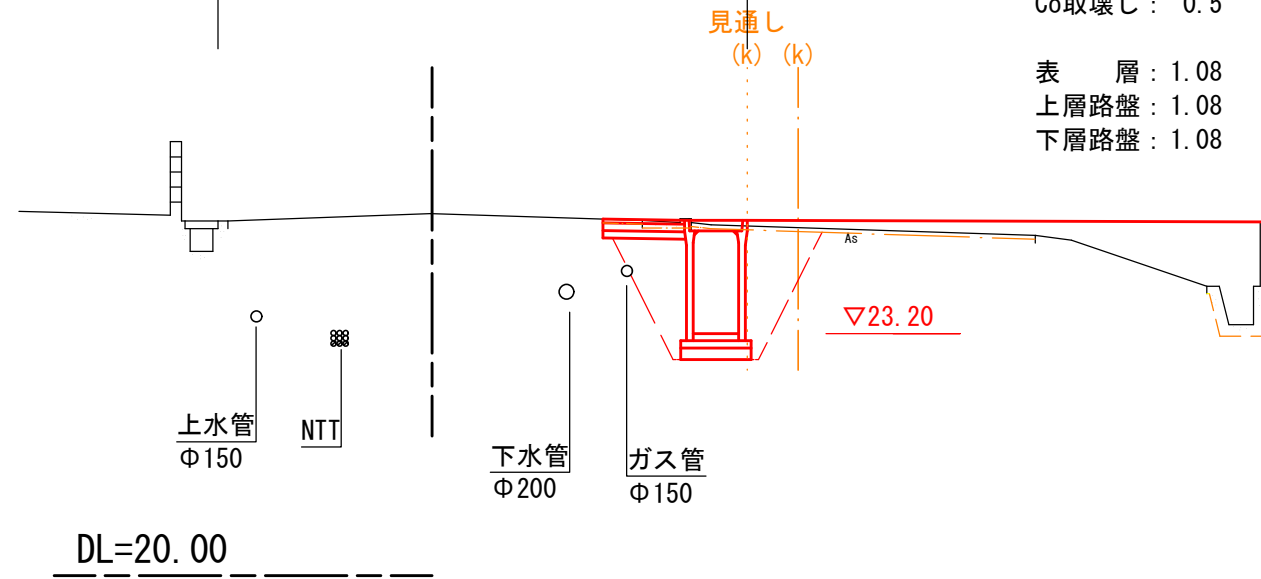
NO. 4

GH=24.72
FH=

(7.00)

床 掘 : 3.3
埋 戻 : 4.9
As取壊し : 5.0
Co取壊し : 0.5

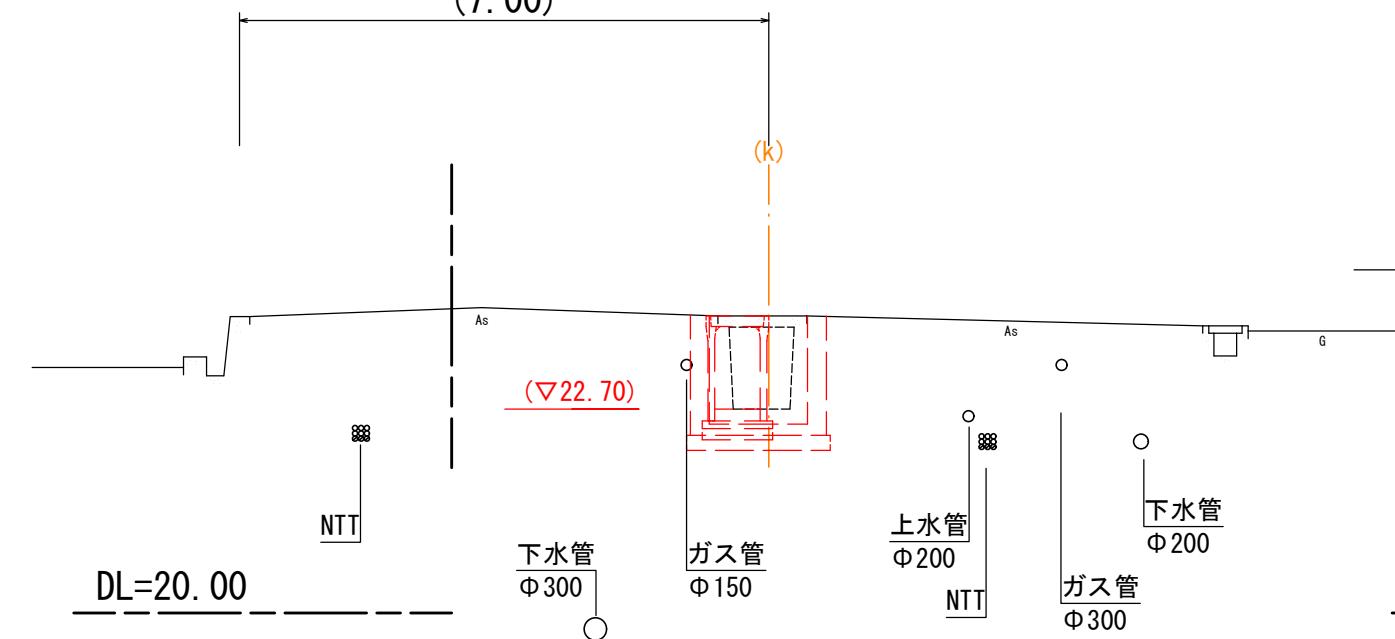
表 層 : 1.08
上層路盤 : 1.08
下層路盤 : 1.08



NO. 1

GH=23.93
FH=

(7.00)



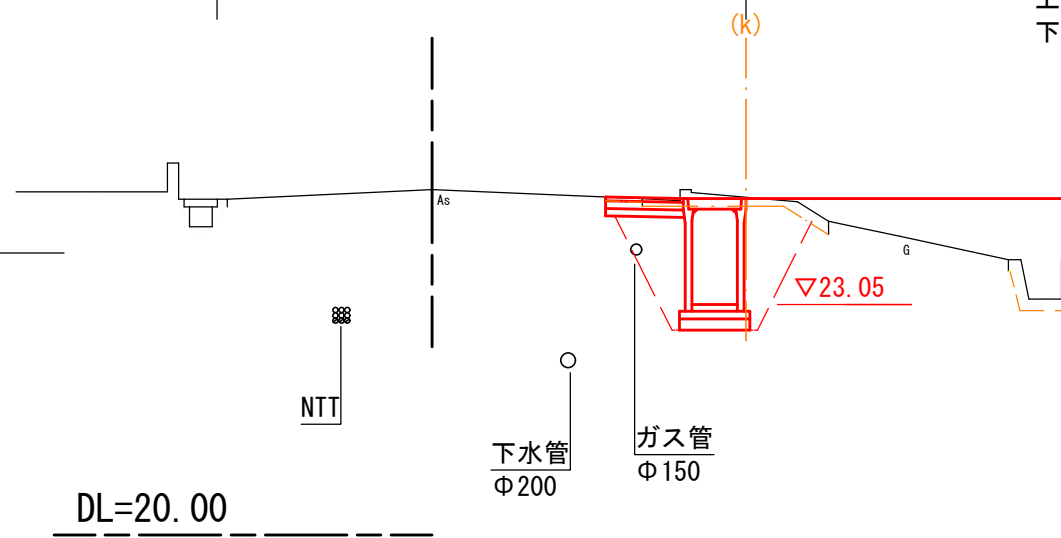
NO. 3

GH=24.57
FH=

(7.00)

床 掘 : 3.2
埋 戻 : 4.6
As取壊し : 0.5
Co取壊し : 0.8

表 層 : 1.03
上層路盤 : 1.03
下層路盤 : 1.03

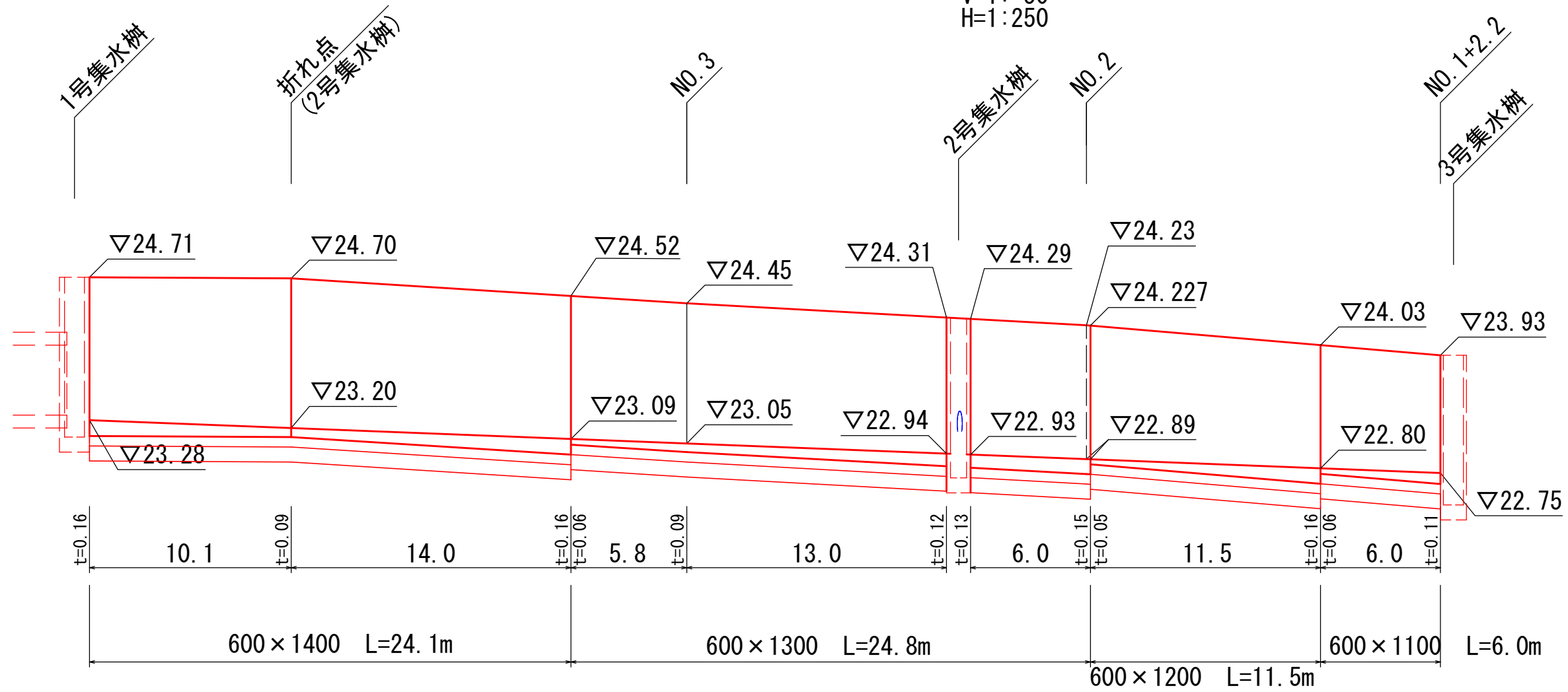


No. 5取付道路

令和 4 年度 大久保428号線道路改良工事	
大久保428号線	
明石市大久保町大窪地内	
横 断 図	3 葉 全
縮 尺 S=1/100	6
明石市都市局道路安全室道路整備課	

自由勾配側溝展開図

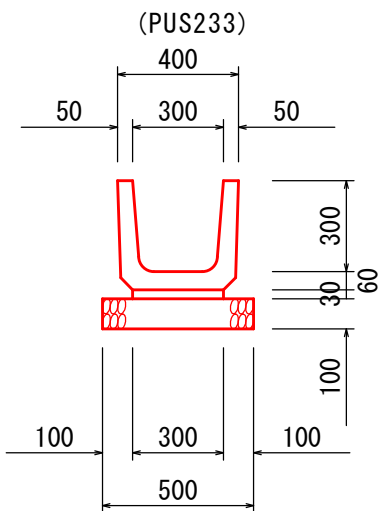
V=1:50
H=1:250



DL=20.00

トラフ (300x300)

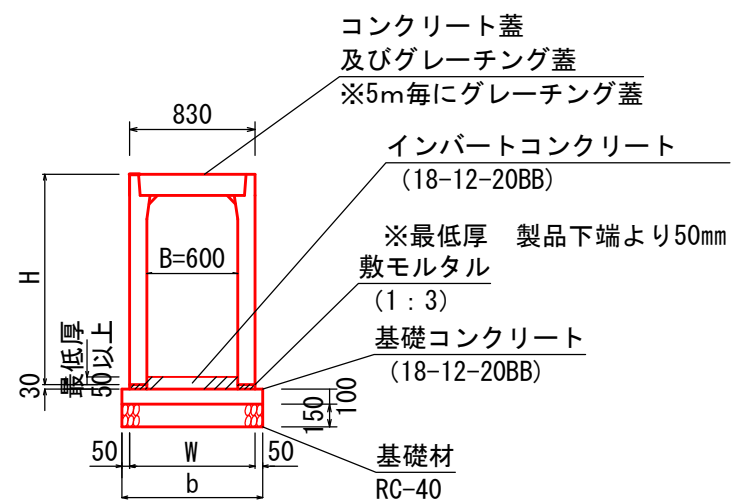
S=1:25



※将来ボックス上流側設置

自由勾配側溝B600 (縦断用)

S=1:50



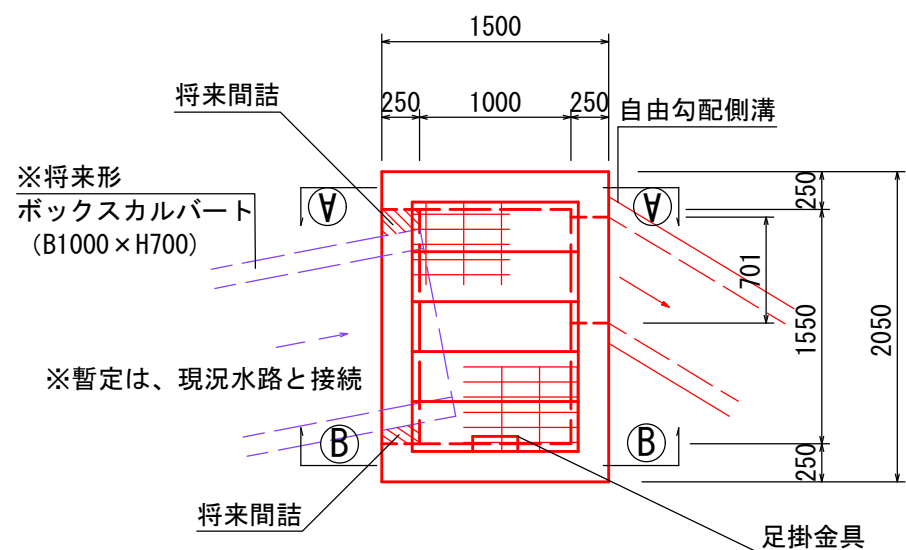
自由勾配側溝(縦断用) 寸法

呼び名 B × H	各部の寸法 (mm)		
	H	W	b
600 x 1100 (縦断用)	1290	830	930
600 x 1200 (縦断用)	1390	830	930
600 x 1300 (縦断用)	1490	830	930
600 x 1400 (縦断用)	1590	830	930

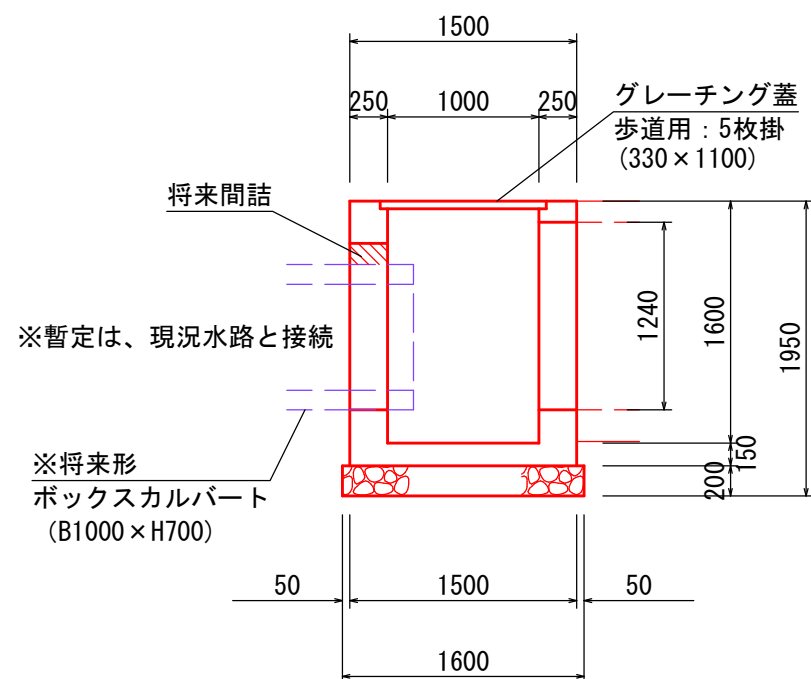
構造図

令和4年度 大久保428号線道路改良工事	
大久保428号線	
明石市大久保町大窪地内	
構造図 (1)	4 / 6 業全
縮尺 図示	6
明石市都市局道路安全室道路整備課	

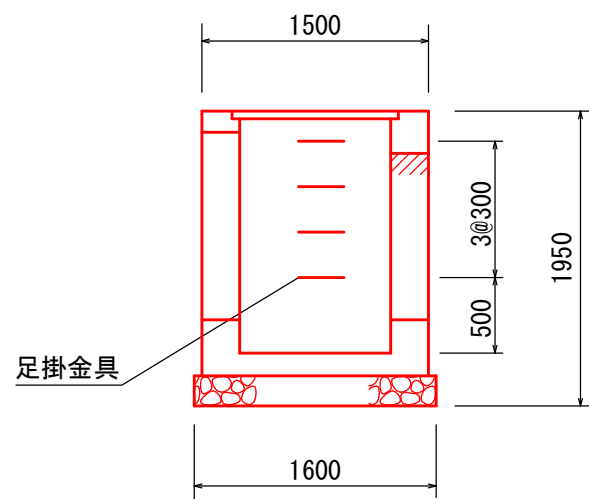
1号集水桝
S=1:50



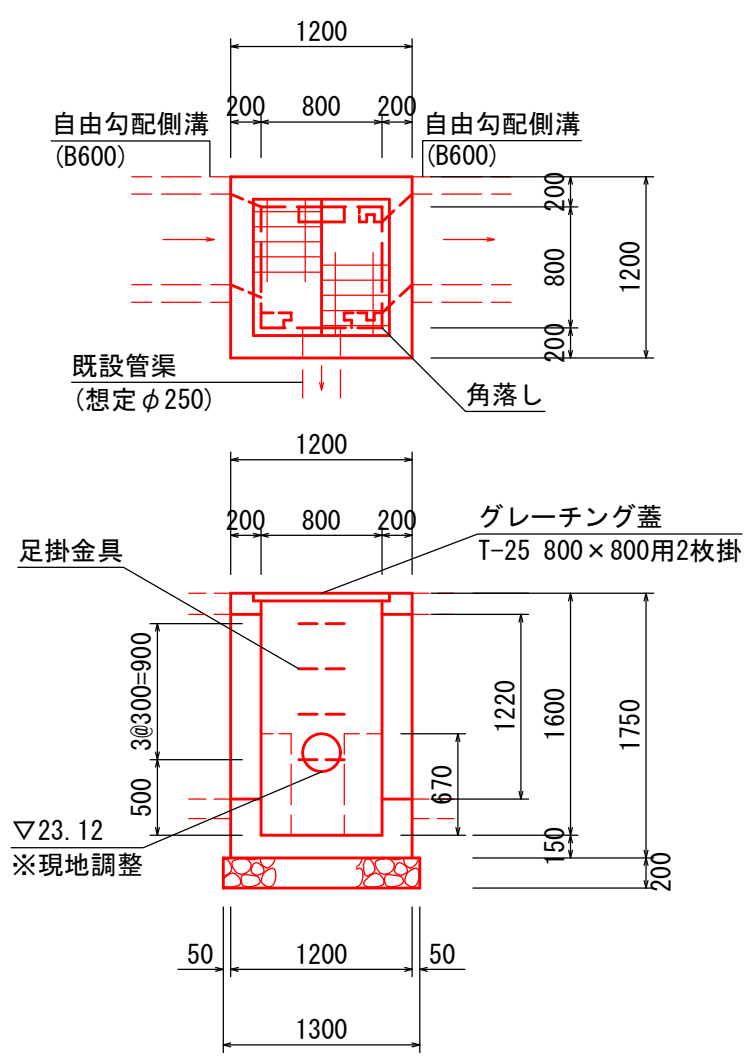
側面 (A-A)



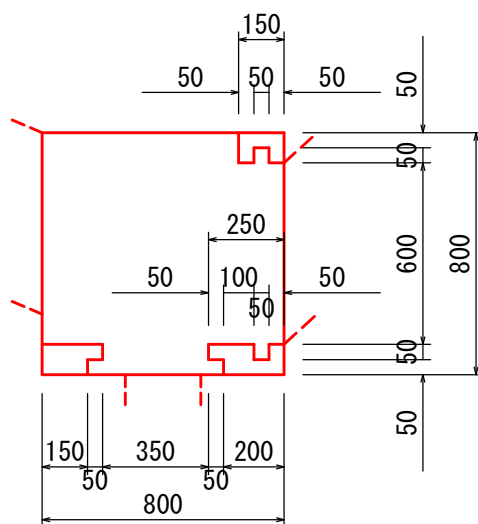
側面 (B-B)



2号集水桝
S=1:50



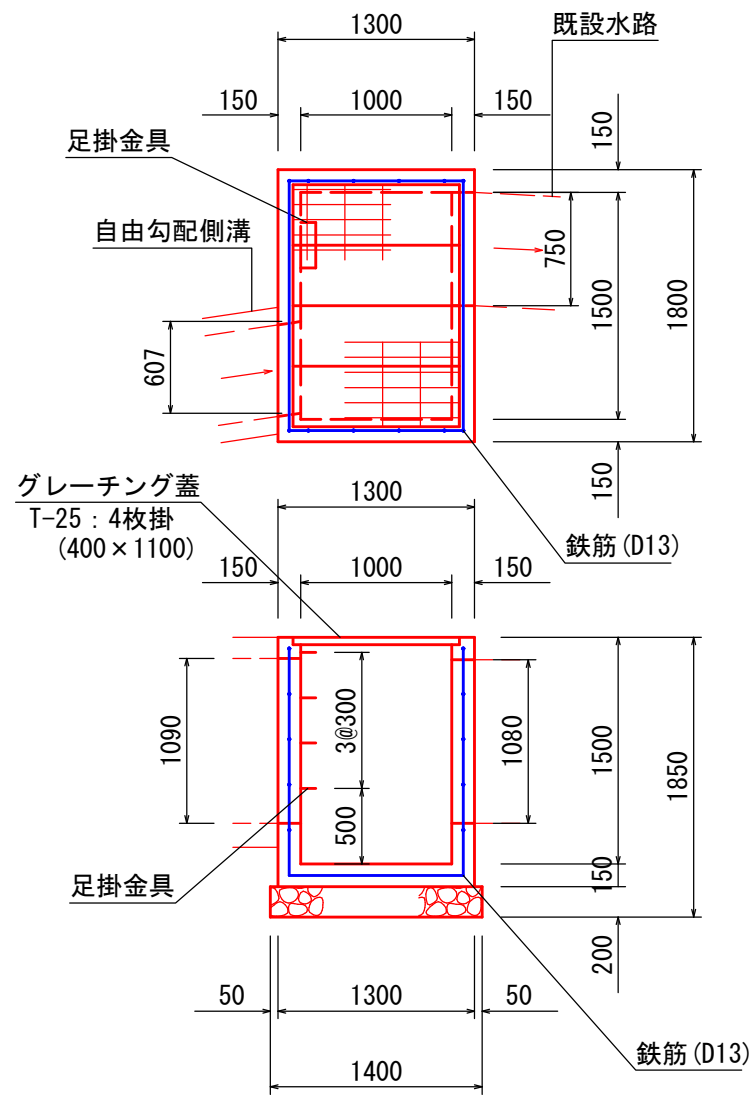
角落し部詳細図 S=1:25



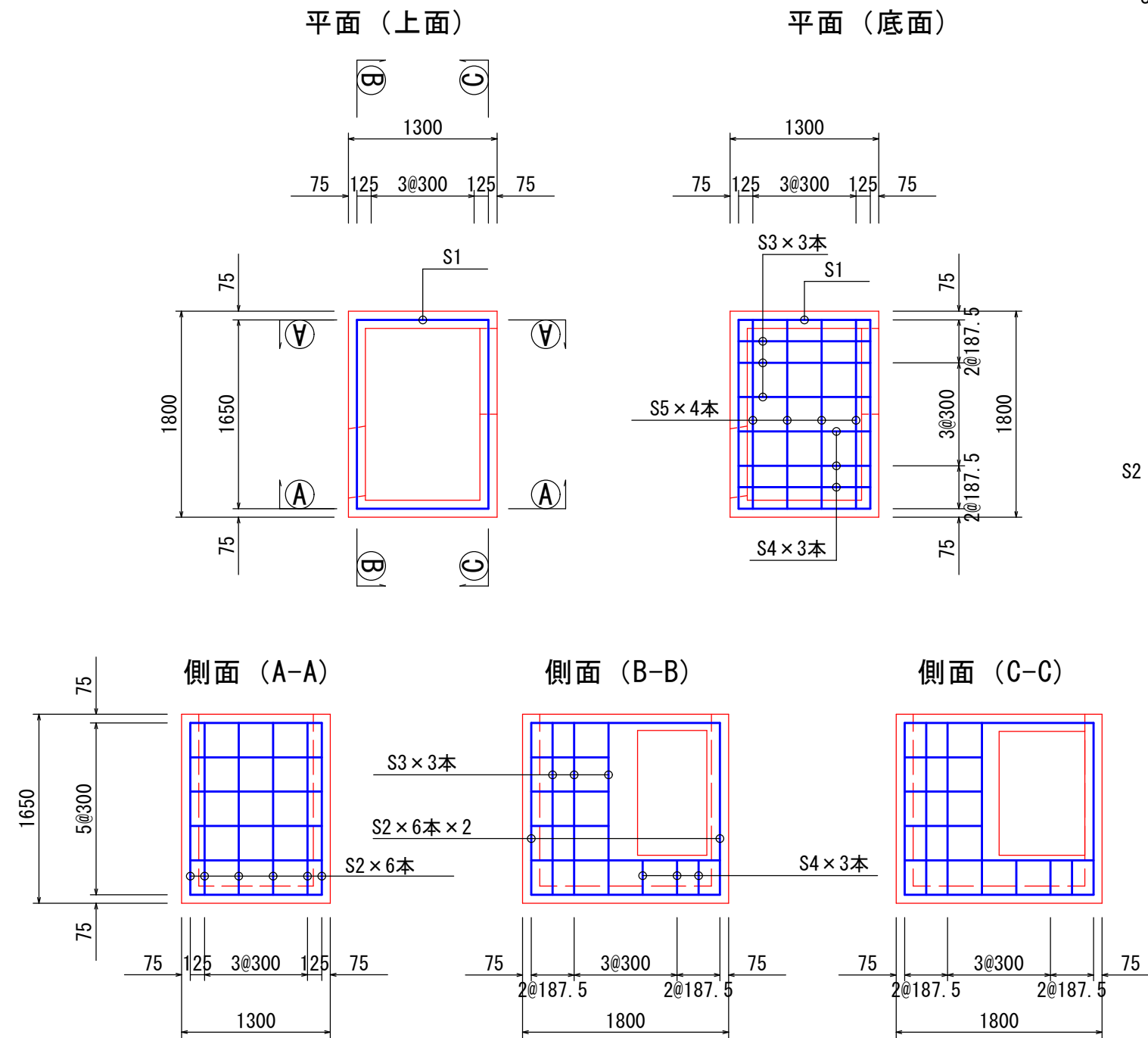
構造図

令和4年度 大久保428号線道路改良工事	
大久保428号線	
明石市大久保町大窪地内	
構造図 (2)	5 / 業全
縮尺 図示	6
明石市都市局道路安全室道路整備課	

3号集水桝
S=1:50



3号集水桝配筋参考図
S=1:50



- S1 : 5.6m × 2 = 11.2m
- S2 : 1.5m × 6 × 2 = 18.0m
- S3 : 4.15m × 3 = 12.45m
- S4 : 1.75m × 3 = 5.25m
- S5 : 1.65m × 4 = 6.6m

計 53.5m

構造図

令和 4 年度 大久保428号線道路改良工事	
大久保428号線	
明石市大久保町大窪地内	
構造図 (3)	6 業全
縮尺 図示	6
明石市都市局道路安全室道路整備課	

令和04年度 大久保428号線道路改良工事

見積参考図書
(当初設計)

工事番号

路線名等 大久保428号線

工事箇所 明石市大久保町大窪地内

工種 道路改良

総括情報表

単価適用年月日	0-04. 11. 01 (0)		
	今 回		前 回
工種区分 (公共) 施工地域区分	04 道路改良 36 市街地(DID補正)(1)-3		

工事費内訳書

頁0-0003/0082

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
側溝工						
プラスチックU型側溝	1		式			工種 第0005号明細表
自由勾配側溝	1		式			工種 第0006号明細表
集水柵・マンホール工						
現場打ち集水柵	1		式			工種 第0007号明細表
構造物撤去工						
防護柵撤去工						
防護柵(横断・転落防止柵)撤去	1		式			工種 第0008号明細表
標識撤去工						

工事費内訳書

頁0-0004/0082

費目・工種・種別・細目	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
標識撤去	1			式						工種 第0009号明細表
道路付属物撤去工										
視線誘導標撤去	1			式						工種 第0010号明細表
構造物取壊し工										
コンクリート構造物取壊し	1			式						工種 第0011号明細表
舗装版切断	1			式						工種 第0012号明細表
舗装版破碎	1			式						工種 第0013号明細表
運搬処理工										
殻運搬	1			式						工種 第0014号明細表

工事費内訳書

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
溶融式区画線						
	1		式			工種 第0022号明細表
仮設工						
交通管理工						
交通誘導警備員						
	1		式			工種 第0023号明細表
直接工事費計						
共通仮設費計						
共通仮設費率分			式			
純工事費計						
現場管理費			式			

床掘り
[規格1] 土砂 平均施工幅1m以上2m未満

[規格2] 土留->無し

積算単価算出表

施工 第0-0001号内訳表

頁0-0032/0082

1
m3 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格		単価	補正 構成比	備考
K1		バックホウ 山積0.45m3(平積0.35) [クローラ型後方超小旋回型] 超低騒音型・排出ガス対策型含				バックホウ(排出ガス対策型・超低騒音型含) 油圧クローラ後方超小旋回 山積0.45m3級			
K									
R1		運転手(特殊)				運転手(特殊)			
R									
Z1		軽油 1.2号 パトロール給油				軽油			
Z									
						計			
		積算単価 =							
A	土質	=1	土砂						
B	施工方法	=2	平均	施工幅1m以上2m未満					
C	土留方式の種類	=1	無し						
D	障害の有無	=1	無し						

埋戻し
[規格1] 最大埋戻幅1m未満

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0002号内訳表

頁0-0033/0082

[摘要]

1

m3 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	バックホウ(クローラ型) 山積0.45m3(平積0.35m3) [標準型・排出ガス対策型(第1次基準値)]			バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 0.45/0.35m3			
K2	タンバ°及びランマ 質量60~80kg			タンバ°(ランマ) 60~80kg			
K							
R1	普通作業員			普通作業員			
R2	特殊作業員			特殊作業員			
R3	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R							
Z1	軽油 1.2号 ハ°トル給油			軽油			
Z2	ガ°リン レキ°ユラ°スタント°			レキ°ユラ°ガ°リン			
Z							
				計			
積算単価 =							
A 施工方法	=4		最大埋戻幅1m未満				

基面整正
[規格1]

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0003号内訳表

頁0-0034/0082
m2 当り

1

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
	K							
	R1	普通作業員			普通作業員			
	R							
	Z							
					計			
	積算単価 =							

施工単価表

施工 第0-0007号内訳表

頁0-0038/0082

自由勾配側溝

[規格1] B:600×H:1100

[規格2]

[摘要]

10 m 当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
自由勾配側溝(門型側溝) 600×1100		m			
自由勾配側溝 機械・労務	10.00	m			施工 第0-0008号内訳表
生コンクリート 18-12-20BB 水セメント比60%以下		m ³			インバートコンクリート
モルタル練 高炉 混合比→1:3	0.07	m ³			施工 第0-0009号内訳表
生コンクリート 18-12-20BB 水セメント比60%以下		m ³			基礎コンクリート
再生切込砕石 (0~30mm・0~40mm)		m ³			
合 計	10	m			
単 位 当 り	1	m			
A 呼び名		=34	B:600×H:1100		
B 基礎材区分		=3	再生切込砕石基礎		
C 夜間作業の有無		=1	昼間作業		
D 時間的制約の有無		=1	時間的制約なし		
E インバートコンクリート平均厚(m)		=0.085	インバートコンクリート平均厚(m)		

施工単価表

施工 第0-0008号内訳表

頁0-0039/0082

自由勾配側溝 機械・労務

[規格1]	[規格2]	[摘要]	1	m	当り
名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
自由勾配側溝 L=2000mm [昼間] 1000超え2000kg/個以下 制約無		m			
単位当り	1	m			
A 夜間作業の有無		=1	昼間作業		
B 規格・仕様区分		=2	L=2000mm	1000kgを超え2000kg/個以下	
C 時間的制約の有無		=1	時間的制約なし		
D 基礎碎石施工の有無		=1	有り		

積算単価算出表

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R								
Z1		セメント 高炉B 25kg袋入			高炉セメント(B種) (袋物25kg入り)			
Z2		砂 細目(洗い)			砂 洗砂			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	セメント種別	=3	高炉					
B	砂種類	=1	洗砂					
C	混合比	=3	1:3					

施工単価表

施工 第0-0013号内訳表

頁0-0044/0082

自由勾配側溝

[規格1] B:600×H:1200

[規格2]

[摘要]

10 m 当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
自由勾配側溝(門型側溝) 600×1200		m			
自由勾配側溝 機械・労務	10.00	m			施工 第0-0008号内訳表
生コンクリート 18-12-20BB 水セメント比60%以下		m ³			インバートコンクリート
モルタル練 高炉 混合比→1:3	0.07	m ³			施工 第0-0009号内訳表
生コンクリート 18-12-20BB 水セメント比60%以下		m ³			基礎コンクリート
再生切込砕石 (0~30mm・0~40mm)		m ³			
合 計	10	m			
単 位 当 り	1	m			
A 呼び名		=35	B:600×H:1200		
B 基礎材区分		=3	再生切込砕石基礎		
C 夜間作業の有無		=1	昼間作業		
D 時間的制約の有無		=1	時間的制約なし		
E インバートコンクリート平均厚(m)		=0.105	インバートコンクリート平均厚(m)		

施工単価表

施工 第0-0015号内訳表

頁0-0046/0082

自由勾配側溝

[規格1] B:600×H:1300

[規格2]

[摘要]

10 m 当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
自由勾配側溝(門型側溝) 600×1300		m			
自由勾配側溝 機械・労務	10.00	m			施工 第0-0008号内訳表
生コンクリート 18-12-20BB 水セメント比60%以下		m ³			インバートコンクリート
モルタル練 高炉 混合比→1:3	0.07	m ³			施工 第0-0009号内訳表
生コンクリート 18-12-20BB 水セメント比60%以下		m ³			基礎コンクリート
再生切込砕石 (0~30mm・0~40mm)		m ³			
合 計	10	m			
単 位 当 り	1	m			
A 呼び名		=36	B:600×H:1300		
B 基礎材区分		=3	再生切込砕石基礎		
C 夜間作業の有無		=1	昼間作業		
D 時間的制約の有無		=1	時間的制約なし		
E インバートコンクリート平均厚(m)		=0.103	インバートコンクリート平均厚(m)		

施工単価表

施工 第0-0017号内訳表

頁0-0048/0082

自由勾配側溝

[規格1] B:600×H:1400

[規格2]

[摘要]

10 m 当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
自由勾配側溝(門型側溝) 600×1400		m			
自由勾配側溝 機械・労務	10.00	m			施工 第0-0008号内訳表
生コンクリート 18-12-20BB 水セメント比60%以下		m3			インバートコンクリート
モルタル練 高炉 混合比→1:3	0.07	m3			施工 第0-0009号内訳表
生コンクリート 18-12-20BB 水セメント比60%以下		m3			基礎コンクリート
再生切込砕石 (0~30mm・0~40mm)		m3			
合 計	10	m			
単 位 当 り	1	m			
A 呼び名		=37	B:600×H:1400		
B 基礎材区分		=3	再生切込砕石基礎		
C 夜間作業の有無		=1	昼間作業		
D 時間的制約の有無		=1	時間的制約なし		
E インバートコンクリート平均厚(m)		=0.125	インバートコンクリート平均厚(m)		

積算単価算出表

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K							
R1	普通作業員			普通作業員			
R2	特殊作業員			特殊作業員			
R3	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	生コンクリート 高炉24-12-25(20) W/C=55%			生コンクリート 18-8-40BB 水セメント比60%以下			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	構造物種別 =1		無筋・鉄筋構造物				
B	打設工法 =4		人力打設				
C	コンクリート規格 =9		18-8-40BB[水セメント比 60%以下]				
E	養生工の種類 =2		一般養生				
G	現場内小運搬の有無 =2		無し				

型枠
[規格1] 一般型枠

[規格2] 鉄筋・無筋構造物

積算単価算出表

施工 第0-0020号内訳表

頁0-0051/0082

[摘要]

1

m2 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格		単 価	補 正 構成比	備 考
K									
R1		型わく工				型わく工			
R2		普通作業員				普通作業員			
R3		土木一般世話役				土木一般世話役			
R									
Z									
						計			
	積算単価 =								
A	型枠の種類	=1		一般型枠					
B	構造物の種類	=1		鉄筋・無筋構造物					

基礎砕石
 [規格1] 砕石厚->17.5cmを超え20.0cm以下

[規格2] 再生クラッシャー RC-30, RC-40

積算単価算出表

施工 第0-0021号内訳表

頁0-0052/0082

[摘要]

1

m2 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1		バックホウ 山積0.8m3(平積0.6m3) [クローラ型] 排出ガス対策型含			バックホウ(排出ガス対策型含) 油圧式クローラ型山積0.8m3級			
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R2		特殊作業員			特殊作業員			
R3		運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R4		土木一般世話役			土木一般世話役			
R								
Z1		再生クラッシャー RC-40			再生切込砕石 (0~30mm・0~40mm)			
Z2		軽油 1.2号 バトル給油			軽油			
Z								
					計			
積算単価 =								
A	砕石の厚さ	=4	17.5cmを超え20.0cm以下					
B	砕石の種類	=1	再生クラッシャー RC-30, RC-40					

施工単価表

施工 第0-0023号内訳表

頁0-0054/0082

2号集水桝

[規格1] 800×800

[規格2]

[摘要]

1

箇所 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
コンクリート 無筋・鉄筋構造物	1.2	m3			施工 第0-0019号内訳表
コンクリート 角 落 し 部	0.1	m3			施工 第0-0024号内訳表
型 枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	12.3	m2			施工 第0-0020号内訳表
型 枠 角 落 し 部 鉄筋・無筋構造物	0.8	m2			施工 第0-0025号内訳表
基礎碎石 碎石厚->17.5cmを超え20.0cm以下 再生クワッシュアソ RC-30, RC-40	1.7	m2			施工 第0-0021号内訳表
グレーチング 布設 T-25 (800×800用)	2	枚			施工 第0-0026号内訳表
鋼製グレーチング 800×800用, T-25 落込式, 細目, 滑り止め		式			受枠込み
足掛け金物 30SW, φ19		個			
単 位 当 り	1	箇所			

積算単価算出表

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K							
R1	普通作業員			普通作業員			
R2	特殊作業員			特殊作業員			
R3	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	生コンクリート 高炉24-12-25(20) W/C=55%			生コンクリート 18-12-20BB 水セメント比60%以下			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	構造物種別 =1		無筋・鉄筋構造物				
B	打設工法 =4		人力打設				
C	コンクリート規格 =10		18-12-20BB[水セメント比 60%以下]				
E	養生工の種類 =2		一般養生				
G	現場内小運搬の有無 =2		無し				

型枠
[規格1] 角落し部

[規格2] 鉄筋・無筋構造物

積算単価算出表

施工 第0-0025号内訳表

頁0-0056/0082

[摘要]

1

m2 当り

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格		単 価	補 正 構成比	備 考
K									
R1		型わく工				型わく工			
R2		普通作業員				普通作業員			
R3		土木一般世話役				土木一般世話役			
R									
Z									
						計			
積算単価 =									
A	型枠の種類	=1	一般型枠						
B	構造物の種類	=1	鉄筋・無筋構造物						

施工単価表

施工 第0-0027号内訳表

頁0-0058/0082

3号集水桝

[規格1]1000×1500

[規格2]

[摘要]

1

箇所 当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート 無筋・鉄筋構造物	1.4	m3			施工 第0-0019号内訳表
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	14.8	m2			施工 第0-0020号内訳表
基礎碎石 碎石厚->17.5cmを超え20.0cm以下 再生クラッシュ RC-30, RC-40	2.7	m2			施工 第0-0021号内訳表
グレーチング布設 T-25 (1000×1500用)	4	枚			施工 第0-0028号内訳表
鋼製グレーチング 1,000×1,500用, T-25 落込式, 細目, 滑り止め		式			受枠込み
足掛け金物 30SW, φ19		個			
鉄筋工 異形棒鋼 (SD345) D13mm	0.05	t			施工 第0-0029号内訳表
単 位 当 り	1	箇所			

施工単価表

施工 第0-0034号内訳表

頁0-0065/0082

構造物とりこわし工

[規格1]鉄筋構造物

[規格2]

[摘要]

1

m3

当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
構造物とりこわし工 (鉄筋) [昼間] 制約無 機械施工		m3			
単 位 当 り	1	m3			
A 構造物区分		=2	鉄筋構造物		
B 時間的制約の有無		=1	時間的制約なし		
C 夜間作業の有無		=1	昼間作業		
D 低騒音・低振動対策		=1	必要		

舗装版切断(アスファルト舗装版)
[規格1] As舗装版厚->15cm以下

[規格2]

積算単価算出表

施工 第0-0035号内訳表

頁0-0066/0082
m 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	コンクリートカッタ 切削深20cm級 [ハキューム式・湿式]			コンクリートカッタ [ハキューム式・湿式] 20cm級			
K							
R1	特殊作業員			特殊作業員			
R2	土木一般世話役			土木一般世話役			
R3	普通作業員			普通作業員			
R							
Z1	コンクリートカッタ(フレート) 径22インチ			舗道版切断 カッターフレート 径22インチ			
Z2	ガソリン レギュラー スタンド			レギュラーガソリン			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	舗装版種別 =1		アスファルト舗装版				
B	アスファルト舗装版厚 =1		15cm以下				

積算単価算出表

標準単価	代表機労材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	小型バックホウ積込0.13m3(平積0.10m3) [クローラ型・排出ガス型(第2次基準値)]			小型バックホウ(クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 0.13/0.10m3			
K							
R1	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R							
Z1	軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							

積算単価算出表

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K1	ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)			ダンプトラック 10t積級[オンロード・ディーゼル] タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む			
K							
R1	運転手(一般)			運転手(一般)			
R							
Z1	軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	殻発生作業	=2	コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし				
B	積込工法区分	=1	機械				
C	DID区間の有無	=2	有り				
D	運搬距離	=9	3.3km以下				

積算単価算出表

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)			ダンプトラック 2t積級[オンロード・ディーゼル] タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む			
K							
R1	運転手(一般)			運転手(一般)			
R							
Z1	軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	殻発生作業	=3	舗装版破碎				
B	積込工法区分	=4	機械(小規模土工)				
C	DID区間の有無	=2	有り				
D	運搬距離	=10	3.5km以下				

不陸整正

[規格1] 補足材料->有り (29mm以上34mm未満)

[規格2] 粒調碎石 M-25, M-30, M-40

積算単価算出表

施工 第0-0041号内訳表

頁0-0072/0082

1
m2 当り

標準単価	代表機労材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	モータグレーダ フレート幅3.1m [土工用・排出ガス対策型(第2次基準値)]			モータグレーダ [土工用・排出ガス対策型(第2次基準値)] 3.1m			
K2	ロードローラ 質量10t [マカダム・排出ガス対策型(第2次基準値)]			ロードローラ [マカダム・排出ガス対策型(第2次基準値)] 10t			
K3	タイヤローラ 質量8~20t 排出ガス対策型含			タイヤローラ(排出ガス対策型含) 8~20t			
K							
R1	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R2	特殊作業員			特殊作業員			
R3	普通作業員			普通作業員			
R4	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	再生クラッシャー RC-40			粒調碎石 (0~25mm・0~30mm・0~40mm)			
Z2	軽油 1.2号 バトル給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	補足材料の有無	=2	有り				
B	補足材料平均厚さ	=9	29mm以上34mm未満				
C	補足材料	=3	粒調碎石 M-25, M-30, M-40				

積算単価算出表

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	モータグレーダ フレート幅3.1m [土工用・排出ガス対策型(第2次基準値)]			モータグレーダ [土工用・排出ガス対策型(第2次基準値)] 3.1m			
K2	ロータリー 質量10t [マカダム・排出ガス対策型(第2次基準値)]			ロータリー [マカダム・排出ガス対策型(第2次基準値)] 10t			
K3	タイヤロー 質量8~20t 排出ガス対策型含			タイヤロー(排出ガス対策型含) 8~20t			
K							
R1	運転手(特殊)			運転手(特殊)			
R2	特殊作業員			特殊作業員			
R3	普通作業員			普通作業員			
R4	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	再生粒度調整碎石 RM-40 全厚t=150mm			粒調碎石 (0~25mm・0~30mm・0~40mm)			
Z2	軽油 1.2号 バトル給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	材料	=3	粒調碎石 M-25, M-30, M-40				
D	全仕上り厚(mm)	=100	全仕上り厚(mm)				
E	施工区分	=1	1層施工				

表層(車道・路肩部)
[規格1] t = 50mm

[規格2] 密粒度アスコン[再](13)

積算単価算出表

施工 第0-0043号内訳表

頁0-0074/0082

[摘要]

1
m2 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	振動ローラ(舗装用) 質量0.5~0.6t [ハントカタ式]			振動ローラ(舗装用) [ハントカタ式] 0.5~0.6t			
K2	振動コンパクタ 質量40~60kg [前進型]			振動コンパクタ [前進型] 40~60kg			
K							
R1	特殊作業員			特殊作業員			
R2	普通作業員			普通作業員			
R3	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	密粒度アスコン TOP20 t=50mm			再生密粒度アスコン TOP13			
Z2	アスファルト乳剤 PK-3 フライムコート用			アスファルト乳剤 PK-3(フライムコート用)			
Z3	ガソリン レギュラー スタンド			レギュラーガソリン			
Z4	軽油 1.2号 パトロール給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	平均幅員	=1	1.4m未満(1層当り平均厚50mm以下)				
B	1層当り平均仕上り厚(mm)	=50	1層当り平均仕上り厚(mm)				
C	材料	=8	密粒度アスコン[再](13)				

表層(車道・路肩部)
[規格1] t = 50mm

[規格2] 密粒度アスコン[再](13)

積算単価算出表

施工 第0-0044号内訳表

頁0-0076/0082

[摘要]

1
m2 当り

標準単価	代表機材規格	構成比	基準単価	積算規格	単価	補正 構成比	備考
K1	振動ロー(舗装用) 質量0.5~0.6t [ハットカタ式]			振動ロー(舗装用) [ハットカタ式] 0.5~0.6t			
K2	振動コンパクタ 質量40~60kg [前進型]			振動コンパクタ [前進型] 40~60kg			
K							
R1	特殊作業員			特殊作業員			
R2	普通作業員			普通作業員			
R3	土木一般世話役			土木一般世話役			
R							
Z1	密粒度アスコン TOP20 t=50mm			再生密粒度アスコン TOP13			
Z2	ガソリン レギュラー スタンド			レギュラーガソリン			
Z3	軽油 1.2号 バトル給油			軽油			
Z							
				計			
積算単価 =							
A	平均幅員	=1	1.4m未満(1層当り平均厚50mm以下)				
B	1層当り平均仕上り厚(mm)	=50	1層当り平均仕上り厚(mm)				
C	材料	=8	密粒度アスコン[再](13)				
D	夜間割増の有無	=1	無し				
E	瀝青材料種類	=5	無し				

積算単価算出表

標準単価	代表機材規格		構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考
K								
R1		普通作業員			普通作業員			
R2		土木一般世話役			土木一般世話役			
R								
Z								
					計			
積算単価 =								
A	基礎種別	=1	基礎ブロック					
C	支柱間隔	=2	2m					

施工単価表

施工 第0-0048号内訳表

頁0-0080/0082

区画線設置 [溶融式] 機械・労務

[規格1]

[規格2]

[摘要]

1

m

当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
区画線設置工 溶融式(手動) [昼間] 実線15cm 豪雪無 制約無 供用区間		m			
単位当り	1	m			
A 夜間作業の有無		=1	昼間作業		
B 規格・仕様区分		=1	実線 15cm		
C 時間的制約の有無		=1	時間的制約なし		
D 排水性舗装の補正		=1	一般舗装		
E 未供用区間の補正		=1	供用区間		

施工単価表

施工 第0-0049号内訳表

頁0-0081/0082

区画線設置 [溶融式] 材料

[規格1]

[規格2]

[摘要]

1000 m 当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
路面標示用塗料 3種1号 溶融 白 ガラスビーズ含有量15～18% 比重2.0		kg			
ガラスビーズ 1号(0.106～0.850mm)		kg			
接着用プライマー 区画線用 比重0.9		kg			
軽油		L			
諸雑費		%			
合計		m			
単位当り	1	m			
A 規格・仕様区分		=1	実線15cm		
B 排水性舗装の補正		=1	一般舗装		
C 未供用区間の補正		=1	供用区間		
D 塗布厚		=1	t=1.5mm		
E 塗料区分		=1	白		
F プライマー規格		=1	アスファルト舗装用		

積算参考資料（試行）

本工事の積算で設定した見積単価及び特別調査単価を以下に示す。

注) 本積算参考資料は、あくまで発注者が予定価格を算出する際の積算条件を参考までに示した資料であり、何ら契約上の拘束力を生じるものではない。

<材料のみ>

名称	規格	単位	採用単価（円）
集水柵用鋼製グレーチング 1,000×1,550 用、T-2	落込式、細目、滑り止め 受枠込み	式	315,200
集水柵用鋼製グレーチング 800×800 用、T-25	落込式、細目、滑り止め 受枠込み	式	181,200
集水柵用鋼製グレーチング 1,000×1,500 用、T-25	落込式、細目、滑り止め 受枠込み	式	526,700
足掛け金具	30SW、φ19	個	2,250